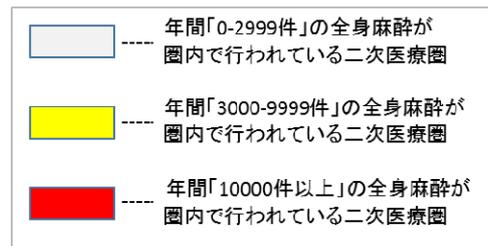
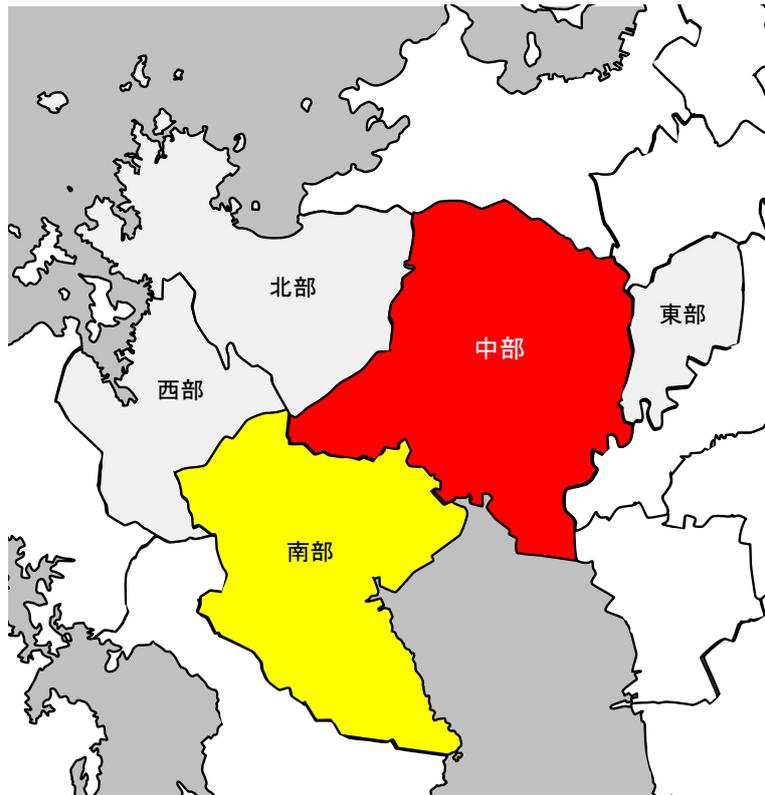


41. 佐賀県



目次

佐賀県	41	-	3
1. 中部医療圏	41	-	9
2. 東部医療圏	41	-	15
3. 北部医療圏	41	-	21
4. 西部医療圏	41	-	27
5. 南部医療圏	41	-	33

佐賀県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は51,484人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は579人(34%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は275人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は42%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

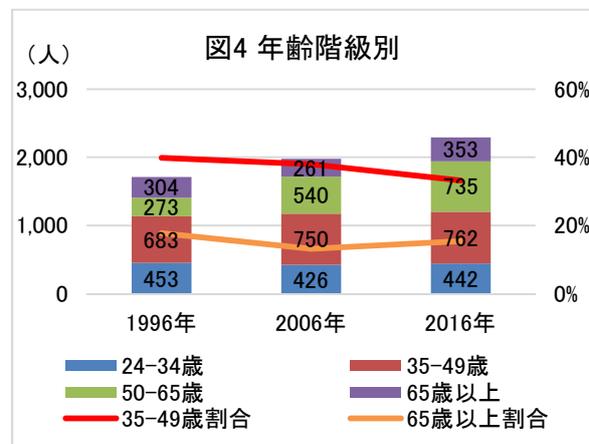
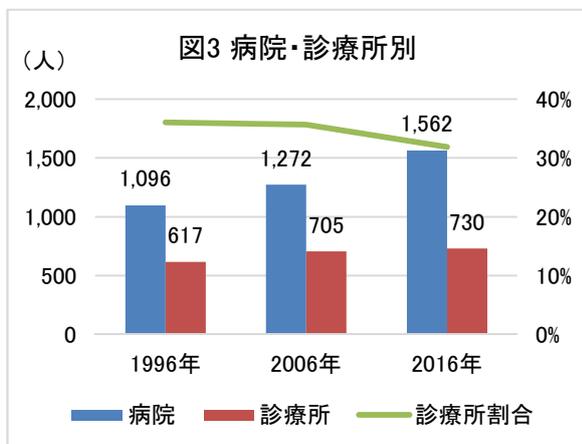
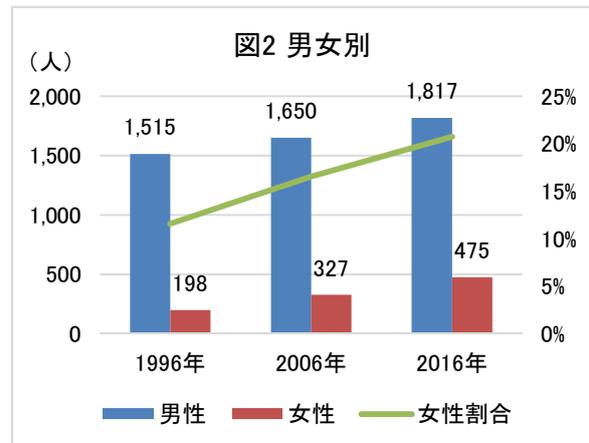
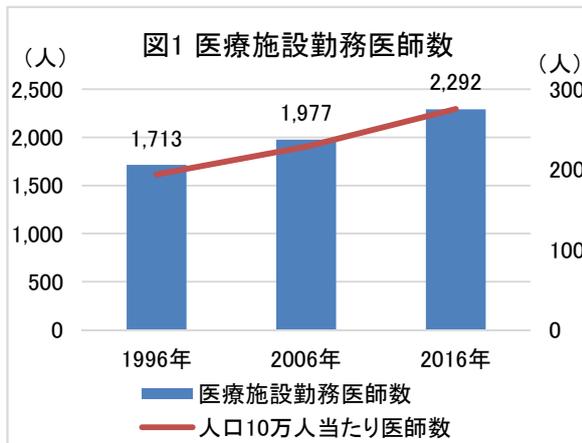
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて302人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に277人(140%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて466人(43%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に113人(18%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は79人(12%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて49人(16%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

佐賀県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	884,316	866,369	832,832	-51,484	-6%	-17,947	-2%	-33,537	-4%	
総医師数	1,810	2,079	2,377	567	31%	269	15%	298	14%	
人口10万対	204.7	240.0	285.4	80.7	39%	35.3	17%	45.4	19%	
医療施設勤務医師数	1,713	1,977	2,292	579	34%	264	15%	315	16%	
人口10万対	193.7	228.2	275.2	81.5	42%	34.5	18%	47.0	21%	
男性医師数	1,515	1,650	1,817	302	20%	135	9%	167	10%	
人口10万対	171.3	190.5	218.2	46.9	27%	19.1	11%	27.7	15%	
女性医師数	198	327	475	277	140%	129	65%	148	45%	
人口10万対	22.4	37.7	57.0	34.6	155%	15.4	69%	19.3	51%	
病院勤務医師数	1,096	1,272	1,562	466	43%	176	16%	290	23%	
人口10万対	123.9	146.8	187.6	63.6	51%	22.9	18%	40.7	28%	
診療所勤務医師数	617	705	730	113	18%	88	14%	25	4%	
人口10万対	69.8	81.4	87.7	17.9	26%	11.6	17%	6.3	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.0	47.9	49.6	2.6	6%	0.9	2%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	453	426	442	-11	-2%	-27	-6%	16	4%
	35-49歳	683	750	762	79	12%	67	10%	12	2%
	50-64歳	273	540	735	462	169%	267	98%	195	36%
	65歳以上	304	261	353	49	16%	-43	-14%	92	35%
	75歳以上(再掲)	100	133	113	13	13%	33	33%	-20	-15%
男性	24-34歳	344	265	268	-76	-22%	-79	-23%	3	1%
	35-49歳	620	639	567	-53	-9%	19	3%	-72	-11%
	50-64歳	260	495	648	388	149%	235	90%	153	31%
	65歳以上	291	251	334	43	15%	-40	-14%	83	33%
	75歳以上(再掲)	95	125	107	12	13%	30	32%	-18	-14%
女性	24-34歳	109	161	174	65	60%	52	48%	13	8%
	35-49歳	63	111	195	132	210%	48	76%	84	76%
	50-64歳	13	45	87	74	569%	32	246%	42	93%
	65歳以上	13	10	19	6	46%	-3	-23%	9	90%
	75歳以上(再掲)	5	8	6	1	20%	3	60%	-2	-25%
病院	24-34歳	438	415	434	-4	-1%	-23	-5%	19	5%
	35-49歳	448	551	624	176	39%	103	23%	73	13%
	50-64歳	132	232	381	249	189%	100	76%	149	64%
	65歳以上	78	74	123	45	58%	-4	-5%	49	66%
	75歳以上(再掲)	30	27	40	10	33%	-3	-10%	13	48%
診療所	24-34歳	15	11	8	-7	-47%	-4	-27%	-3	-27%
	35-49歳	235	199	138	-97	-41%	-36	-15%	-61	-31%
	50-64歳	141	308	354	213	151%	167	118%	46	15%
	65歳以上	226	187	230	4	2%	-39	-17%	43	23%
	75歳以上(再掲)	70	106	73	3	4%	36	51%	-33	-31%
	85歳以上(再掲)	12	17	22	10	83%	5	42%	5	29%

佐賀県

＜医師数の推移＞

佐賀県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、脳神経外科、整形外科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,713	193.7	51	1,977	228.2	53	2,292	275.2	54	579	34%	81.5	42%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	699	79.0	51	744	85.9	53	866	104.0	55	167	24%	24.9	32%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	89	10.1	48	103	11.9	51	124	14.9	53	35	39%	4.8	48%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	119	13.5	64	143	16.5	65	161	19.3	63	42	35%	5.9	44%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	197	22.3	52	178	20.5	53	179	21.5	53	-18	-9%	-0.8	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.1	45	1	0.1	43	5	0.6	50	4	400%	0.5	431%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	19	2.1	54	21	2.4	52	24	2.9	52	5	26%	0.7	34%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	39	4.4	50	42	4.8	50	63	7.6	57	24	62%	3.2	72%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	128	14.5	53	164	18.9	59	190	22.8	62	62	48%	8.3	58%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	0.5	45	9	1.0	47	14	1.7	48	10	250%	1.2	272%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	55	6.2	52	60	6.9	52	62	7.4	51	7	13%	1.2	20%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	68	7.7	48	79	9.1	49	80	9.6	48	12	18%	1.9	25%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	56	6.3	48	64	7.4	51	66	7.9	52	10	18%	1.6	25%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	44	5.0	54	46	5.3	52	54	6.5	54	10	23%	1.5	30%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	89	10.1	50	81	9.3	50	76	9.1	47	-13	-15%	-0.9	-9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	4	0.5	46	6	0.7	44	15	1.8	49	11	275%	1.3	298%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	40	4.5	54	47	5.4	55	52	6.2	53	12	30%	1.7	38%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	36	4.1	50	44	5.1	51	70	8.4	53	34	94%	4.3	106%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				16	1.8	54	27	3.2	53	11	69%	1.4	76%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				99	11.4	50	112	13.4	50	112	13%	2.0	18%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	26	2.9	47	30	3.5	47	52	6.2	48	26	100%	3.3	112%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

佐賀県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は119,249人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は478人(21%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は388人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

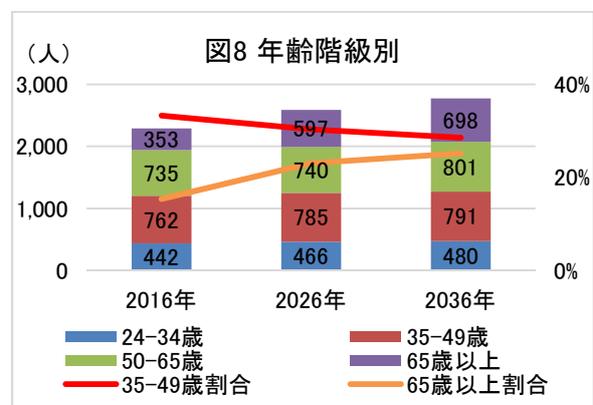
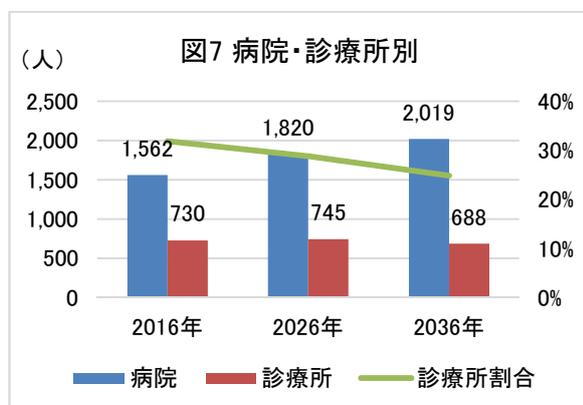
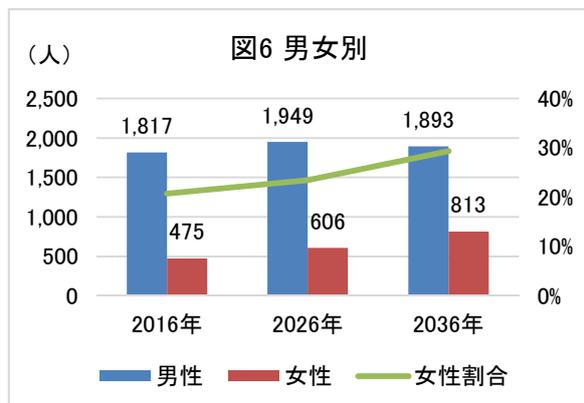
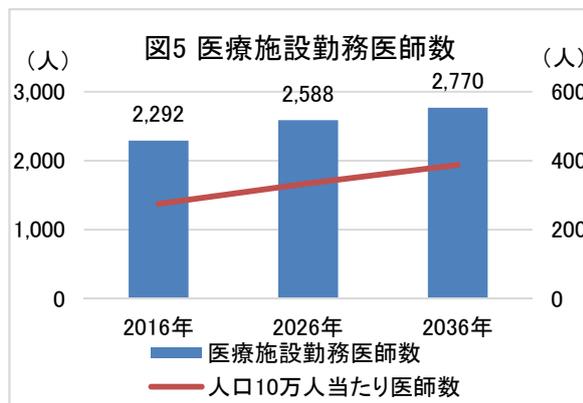
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて76人(4%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に338人(71%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて457人(29%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に42人(-6%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は29人(4%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて345人(98%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



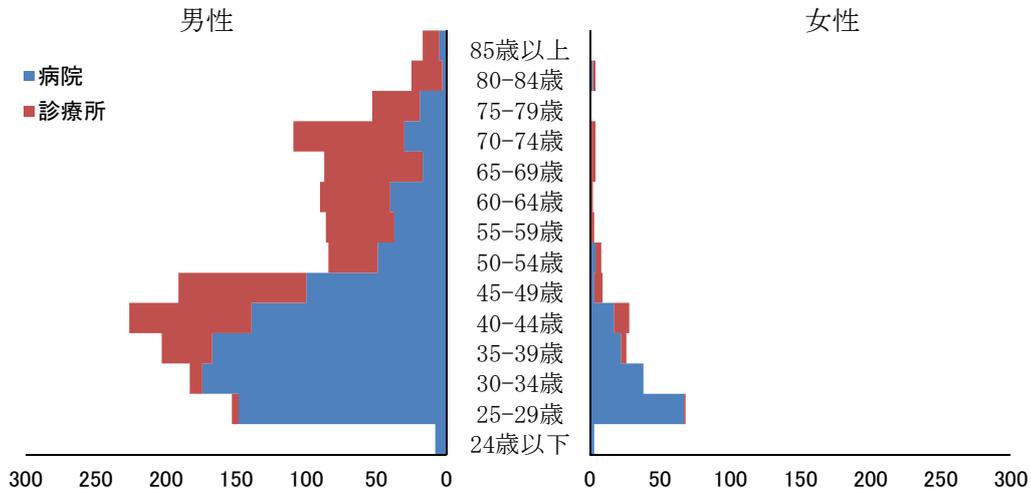
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

佐賀県

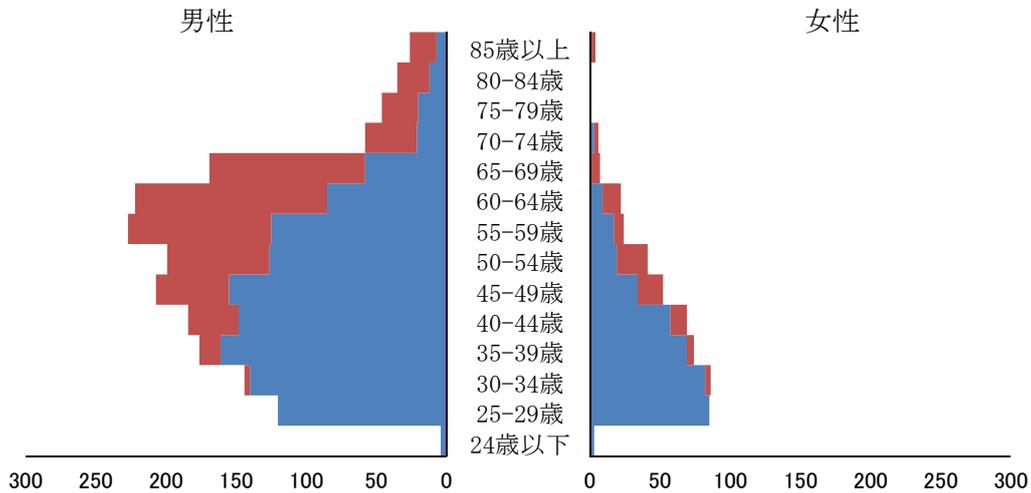
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

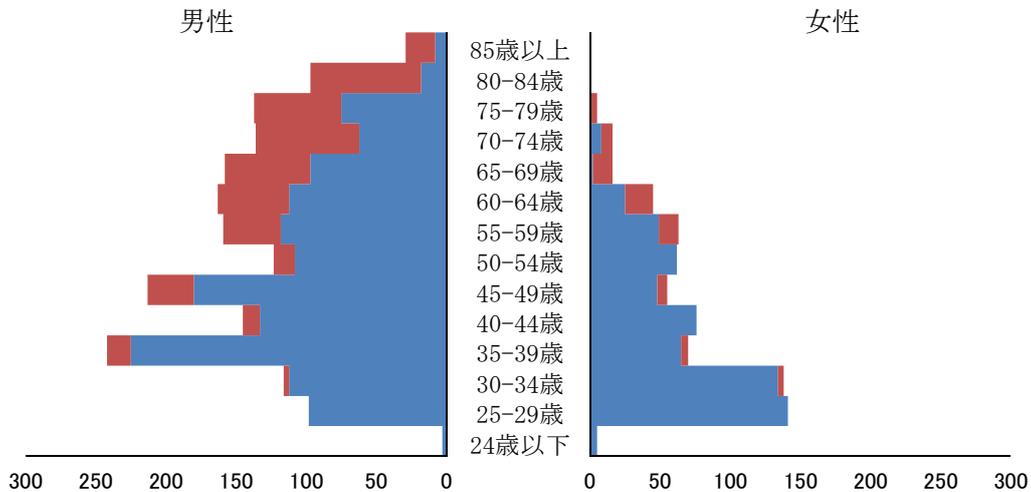
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

佐賀県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	832,832	774,676	713,583	-119,249	-14%	-58,156	-7%	-61,093	-8%	
医療施設勤務医師数	2,292	2,588	2,770	478	21%	296	13%	182	7%	
人口10万対	275.2	334.1	388.2	113.0	41%	58.9	21%	54.1	16%	
男性医師数	1,817	1,949	1,893	76	4%	132	7%	-56	-3%	
人口10万対	218.2	251.6	265.3	47.1	22%	33.4	15%	13.7	5%	
女性医師数	475	606	813	338	71%	131	28%	207	34%	
人口10万対	57.0	78.2	113.9	56.9	100%	21.2	37%	35.7	46%	
病院勤務医師数	1,562	1,820	2,019	457	29%	258	17%	199	11%	
人口10万対	187.6	234.9	282.9	95.4	51%	47.4	25%	48.0	20%	
診療所勤務医師数	730	745	688	-42	-6%	15	2%	-57	-8%	
人口10万対	87.7	96.2	96.4	8.8	10%	8.5	10%	0.2	0%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	442	466	480	38	9%	24	5%	14	3%
	35-49歳	762	785	791	29	4%	23	3%	6	1%
	50-64歳	735	740	801	66	9%	5	1%	61	8%
	65歳以上	353	597	698	345	98%	244	69%	101	17%
	75歳以上(再掲)	113	187	301	188	166%	74	65%	114	61%
男性	24-34歳	268	281	217	-51	-19%	13	5%	-64	-23%
	35-49歳	567	540	579	12	2%	-27	-5%	39	7%
	50-64歳	648	581	505	-143	-22%	-67	-10%	-76	-13%
	65歳以上	334	547	592	258	77%	213	64%	45	8%
	75歳以上(再掲)	107	173	268	161	150%	66	62%	95	55%
女性	24-34歳	174	183	284	110	63%	9	5%	101	55%
	35-49歳	195	217	217	22	11%	22	11%	0	0%
	50-64歳	87	170	242	155	178%	83	95%	72	42%
	65歳以上	19	36	70	51	268%	17	89%	34	94%
	75歳以上(再掲)	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	434	457	470	36	8%	23	5%	13	3%
	35-49歳	624	675	706	82	13%	51	8%	31	5%
	50-64歳	381	459	543	162	43%	78	20%	84	18%
	65歳以上	123	229	300	177	144%	106	86%	71	31%
	75歳以上(再掲)	40	64	111	71	178%	24	60%	47	73%
診療所	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	138	122	124	-14	-10%	-16	-12%	2	2%
	50-64歳	354	254	200	-154	-44%	-100	-28%	-54	-21%
	65歳以上	230	361	356	126	55%	131	57%	-5	-1%
	75歳以上(再掲)	73	119	182	109	149%	46	63%	63	53%
	85歳以上(再掲)	22	16	25	3	14%	-6	-27%	9	56%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は14,719人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は359人(38%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は371人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は44%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

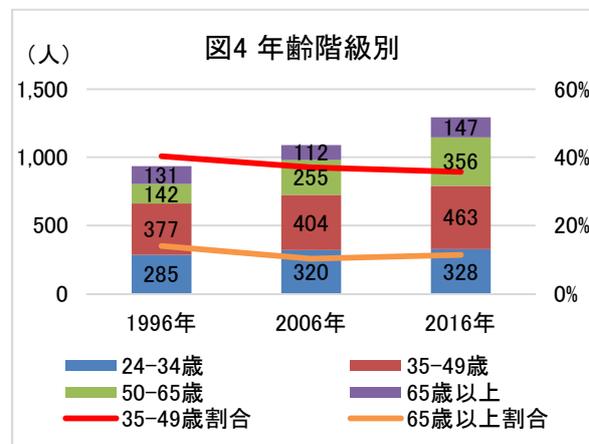
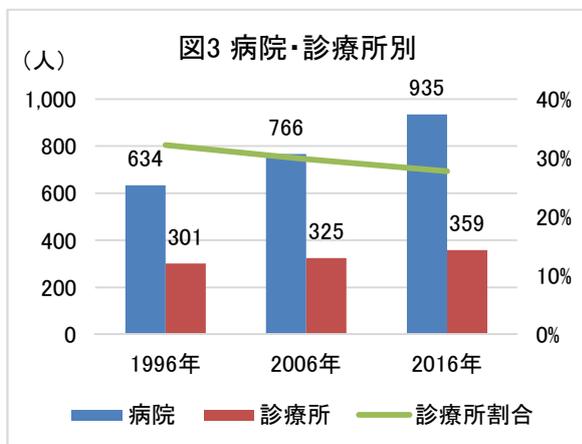
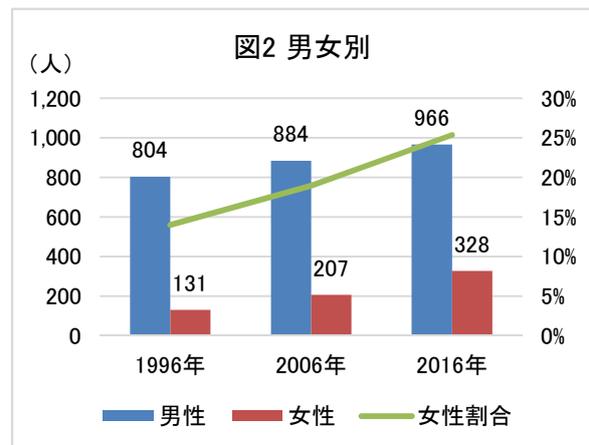
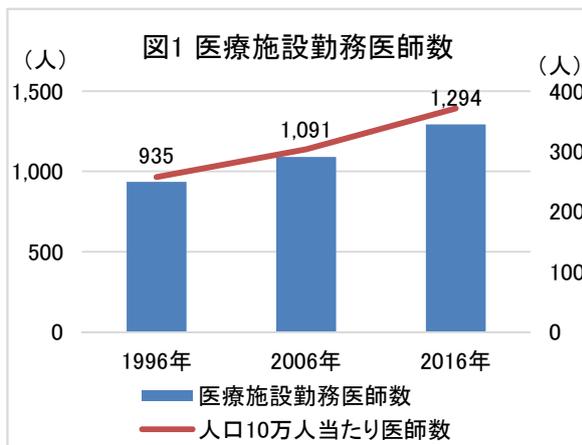
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて162人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に197人(150%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は25%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて301人(47%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に58人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は28%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は86人(23%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて16人(12%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年11%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	363,352	359,589	348,633	-14,719	-4%	-3,763	-1%	-10,956	-3%	
総医師数	1,005	1,164	1,350	345	34%	159	16%	186	16%	
人口10万対	276.6	323.7	387.2	110.6	40%	47.1	17%	63.5	20%	
医療施設勤務医師数	935	1,091	1,294	359	38%	156	17%	203	19%	
人口10万対	257.3	303.4	371.2	113.8	44%	46.1	18%	67.8	22%	
男性医師数	804	884	966	162	20%	80	10%	82	9%	
人口10万対	221.3	245.8	277.1	55.8	25%	24.6	11%	31.2	13%	
女性医師数	131	207	328	197	150%	76	58%	121	58%	
人口10万対	36.1	57.6	94.1	58.0	161%	21.5	60%	36.5	63%	
病院勤務医師数	634	766	935	301	47%	132	21%	169	22%	
人口10万対	174.5	213.0	268.2	93.7	54%	38.5	22%	55.2	26%	
診療所勤務医師数	301	325	359	58	19%	24	8%	34	10%	
人口10万対	82.8	90.4	103.0	20.1	24%	7.5	9%	12.6	14%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.1	45.1	47.0	1.9	4%	0.1	0%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	285	320	328	43	15%	35	12%	8	2%
	35-49歳	377	404	463	86	23%	27	7%	59	15%
	50-64歳	142	255	356	214	151%	113	80%	101	40%
	65歳以上	131	112	147	16	12%	-19	-15%	35	31%
	75歳以上(再掲)	48	55	55	7	15%	7	15%	0	0%
男性	24-34歳	208	199	187	-21	-10%	-9	-4%	-12	-6%
	35-49歳	338	347	332	-6	-2%	9	3%	-15	-4%
	50-64歳	132	231	311	179	136%	99	75%	80	35%
	65歳以上	126	107	136	10	8%	-19	-15%	29	27%
	75歳以上(再掲)	47	52	52	5	11%	5	11%	0	0%
女性	24-34歳	77	121	141	64	83%	44	57%	20	17%
	35-49歳	39	57	131	92	236%	18	46%	74	130%
	50-64歳	10	24	45	35	350%	14	140%	21	88%
	65歳以上	5	5	11	6	120%	0	0%	6	120%
	75歳以上(再掲)	1	3	3	2	200%	2	200%	0	0%
病院	24-34歳	278	318	325	47	17%	40	14%	7	2%
	35-49歳	263	319	396	133	51%	56	21%	77	24%
	50-64歳	65	105	180	115	177%	40	62%	75	71%
	65歳以上	28	24	34	6	21%	-4	-14%	10	42%
	75歳以上(再掲)	14	10	13	-1	-7%	-4	-29%	3	30%
診療所	24-34歳	7	2	3	-4	-57%	-5	-71%	1	50%
	35-49歳	114	85	67	-47	-41%	-29	-25%	-18	-21%
	50-64歳	77	150	176	99	129%	73	95%	26	17%
	65歳以上	103	88	113	10	10%	-15	-15%	25	28%
	75歳以上(再掲)	34	45	42	8	24%	11	32%	-3	-7%
	85歳以上(再掲)	7	7	12	5	71%	0	0%	5	71%

中部医療圏

<医師数の推移>

中部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、心臓血管外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	935	257.3	59	1,091	303.4	62	1,294	371.2	65	359	38%	113.8	44%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	360	99.1	57	354	98.4	57	437	125.3	61	77	21%	26.3	27%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	45	12.4	53	58	16.1	60	71	20.4	63	26	58%	8.0	64%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	68	18.7	77	86	23.9	81	96	27.5	78	28	41%	8.8	47%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	88	24.2	54	87	24.2	59	89	25.5	59	1	1%	1.3	5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.3	47	0	0.0	41	5	1.4	62	4	400%	1.2	421%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	16	4.4	69	15	4.2	62	13	3.7	57	-3	-19%	-0.7	-15%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	23	6.3	57	19	5.3	52	29	8.3	60	6	26%	2.0	31%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	75	20.6	65	96	26.7	75	105	30.1	75	30	40%	9.5	46%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	1.1	51	7	1.9	53	10	2.9	55	6	150%	1.8	161%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	33	9.1	61	36	10.0	62	38	10.9	60	5	15%	1.8	20%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	39	10.7	54	40	11.1	54	45	12.9	56	6	15%	2.2	20%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	36	9.9	58	35	9.7	59	41	11.8	64	5	14%	1.9	19%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	23	6.3	60	26	7.2	61	27	7.7	59	4	17%	1.4	22%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	48	13.2	58	42	11.7	56	46	13.2	56	-2	-4%	-0.0	0%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.6	48	4	1.1	47	12	3.4	60	10	500%	2.9	525%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	27	7.4	63	30	8.3	65	28	8.0	58	1	4%	0.6	8%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	31	8.5	64	33	9.2	63	49	14.1	65	18	58%	5.5	65%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				16	4.4	73	21	6.0	66	5	31%	1.6	35%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				87	24.2	65	93	26.7	65	93	7%	2.5	10%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	16	4.4	50	20	5.6	51	39	11.2	57	23	144%	6.8	154%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は49,570人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は321人(25%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は540人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

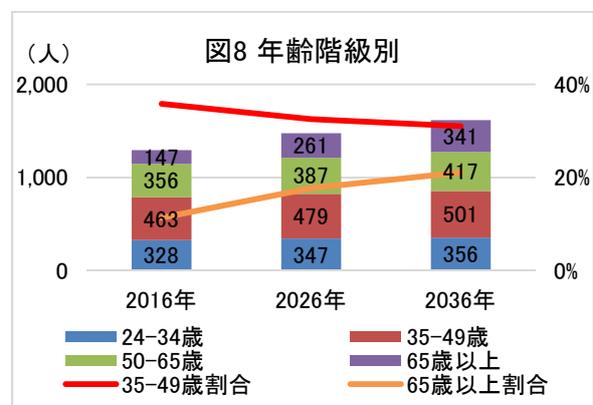
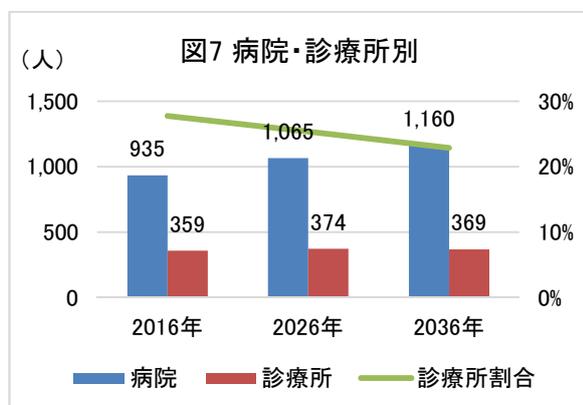
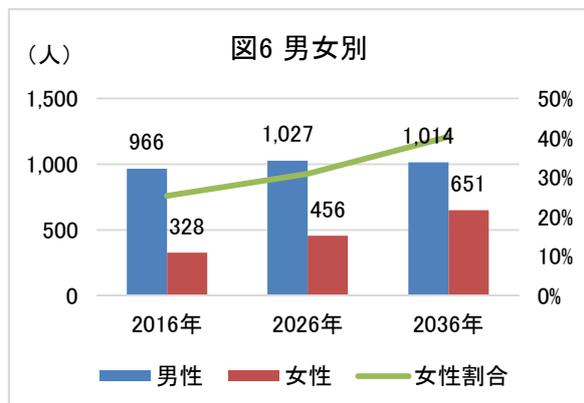
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて48人(5%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に323人(98%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は40%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて225人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(3%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は38人(8%)増え、全国平均(8%)と同程度の減少率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて194人(132%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年11%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



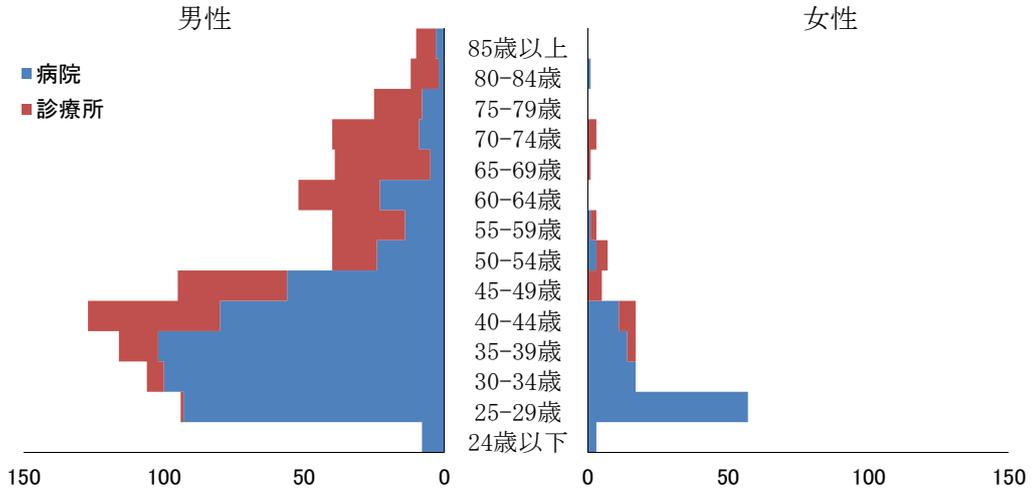
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

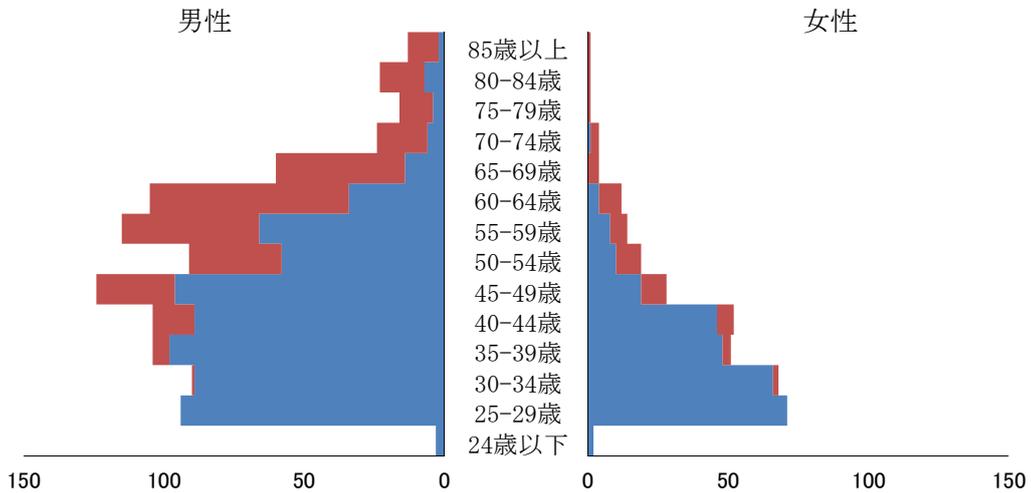
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

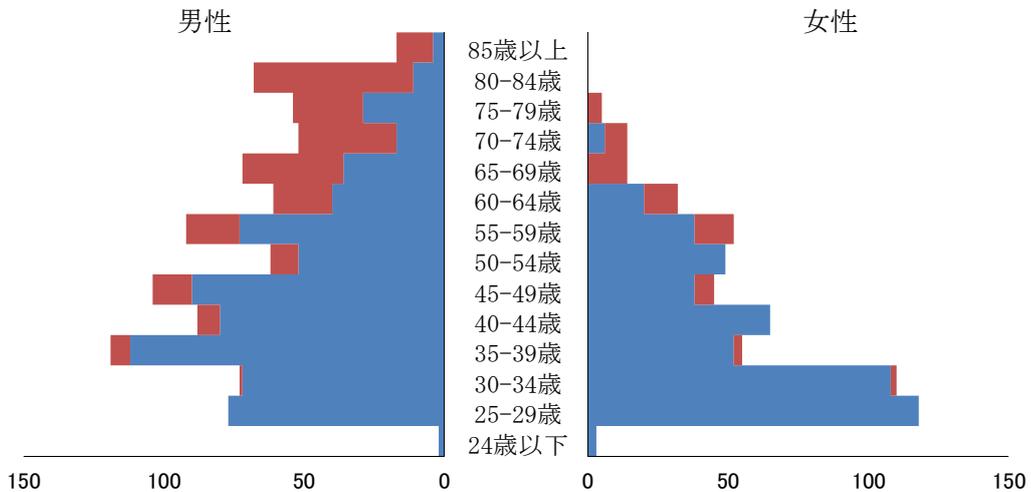
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	348,633	324,222	299,063	-49,570	-14%	-24,411	-7%	-25,159	-8%	
医療施設勤務医師数	1,294	1,474	1,615	321	25%	180	14%	141	10%	
人口10万対	371.2	454.6	540.0	168.9	45%	83.5	22%	85.4	19%	
男性医師数	966	1,027	1,014	48	5%	61	6%	-13	-1%	
人口10万対	277.1	316.8	339.1	62.0	22%	39.7	14%	22.3	7%	
女性医師数	328	456	651	323	98%	128	39%	195	43%	
人口10万対	94.1	140.6	217.7	123.6	131%	46.6	49%	77.0	55%	
病院勤務医師数	935	1,065	1,160	225	24%	130	14%	95	9%	
人口10万対	268.2	328.5	387.9	119.7	45%	60.3	22%	59.4	18%	
診療所勤務医師数	359	374	369	10	3%	15	4%	-5	-1%	
人口10万対	103.0	115.4	123.4	20.4	20%	12.4	12%	8.0	7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	328	347	356	28	9%	19	6%	9	3%
	35-49歳	463	479	501	38	8%	16	3%	22	5%
	50-64歳	356	387	417	61	17%	31	9%	30	8%
	65歳以上	147	261	341	194	132%	114	78%	80	31%
	75歳以上(再掲)	55	76	150	95	173%	21	38%	74	97%
男性	24-34歳	187	197	152	-35	-19%	10	5%	-45	-23%
	35-49歳	332	306	321	-11	-3%	-26	-8%	15	5%
	50-64歳	311	291	256	-55	-18%	-20	-6%	-35	-12%
	65歳以上	136	233	285	149	110%	97	71%	52	22%
	75歳以上(再掲)	52	69	131	79	152%	17	33%	62	90%
女性	24-34歳	141	149	230	89	63%	8	6%	81	54%
	35-49歳	131	176	183	52	40%	45	34%	7	4%
	50-64歳	45	107	190	145	322%	62	138%	83	78%
	65歳以上	11	24	48	37	336%	13	118%	24	100%
	75歳以上(再掲)	3	3	6	3	100%	0	0%	3	100%
病院	24-34歳	325	344	353	28	9%	19	6%	9	3%
	35-49歳	396	416	435	39	10%	20	5%	19	5%
	50-64歳	180	236	264	84	47%	56	31%	28	12%
	65歳以上	34	69	108	74	218%	35	103%	39	57%
	75歳以上(再掲)	13	19	44	31	238%	6	46%	25	132%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	67	62	63	-4	-6%	-5	-7%	1	2%
	50-64歳	176	126	104	-72	-41%	-50	-28%	-22	-17%
	65歳以上	113	183	199	86	76%	70	62%	16	9%
	75歳以上(再掲)	42	57	108	66	157%	15	36%	51	89%
	85歳以上(再掲)	12	11	15	3	25%	-1	-8%	4	36%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,271人（11%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は69人（45%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は178人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均（31%）と同程度である。

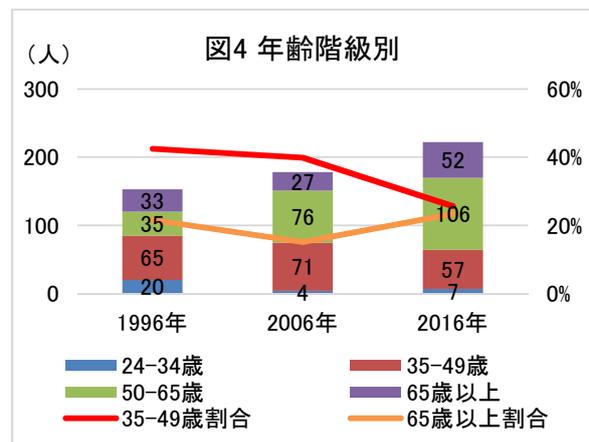
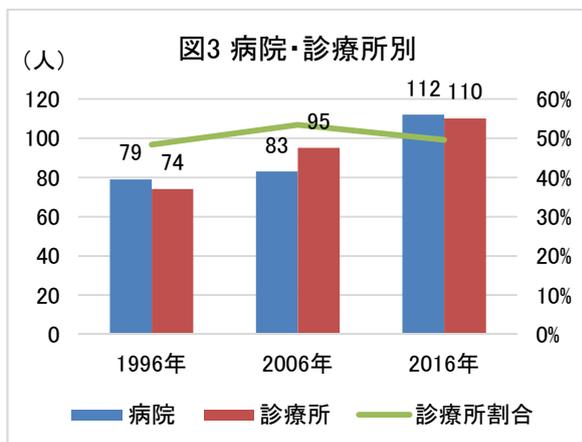
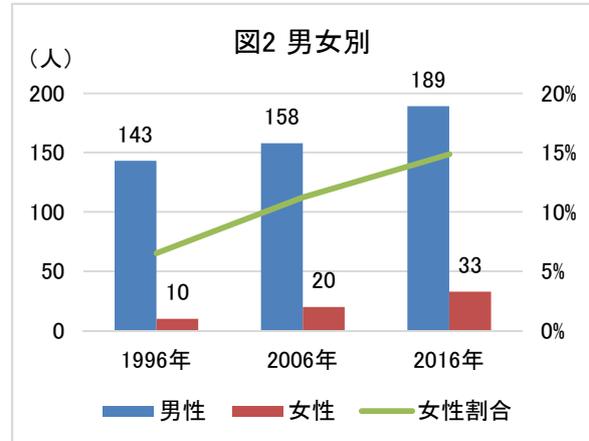
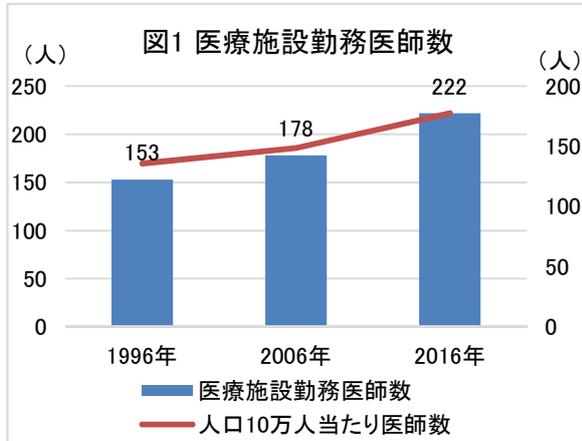
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて46人（32%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。女性医師は、同期間に23人（230%）増え、全国平均（111%）を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて33人（42%）増え、全国平均（37%）を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に36人（49%）増え、全国平均（25%）を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は50%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は8人（-12%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて19人（58%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	112,693	119,859	124,964	12,271	11%	7,166	6%	5,105	4%	
総医師数	159	182	228	69	43%	23	14%	46	25%	
人口10万対	141.1	151.8	182.5	41.4	29%	10.8	8%	30.6	20%	
医療施設勤務医師数	153	178	222	69	45%	25	16%	44	25%	
人口10万対	135.8	148.5	177.7	41.9	31%	12.7	9%	29.1	20%	
男性医師数	143	158	189	46	32%	15	10%	31	20%	
人口10万対	126.9	131.8	151.2	24.4	19%	4.9	4%	19.4	15%	
女性医師数	10	20	33	23	230%	10	100%	13	65%	
人口10万対	8.9	16.7	26.4	17.5	198%	7.8	88%	9.7	58%	
病院勤務医師数	79	83	112	33	42%	4	5%	29	35%	
人口10万対	70.1	69.2	89.6	19.5	28%	-0.9	-1%	20.4	29%	
診療所勤務医師数	74	95	110	36	49%	21	28%	15	16%	
人口10万対	65.7	79.3	88.0	22.4	34%	13.6	21%	8.8	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.4	53.9	56.4	5.0	10%	2.5	5%	2.5	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	20	4	7	-13	-65%	-16	-80%	3	75%
	35-49歳	65	71	57	-8	-12%	6	9%	-14	-20%
	50-64歳	35	76	106	71	203%	41	117%	30	39%
	65歳以上	33	27	52	19	58%	-6	-18%	25	93%
	75歳以上(再掲)	8	14	14	6	75%	6	75%	0	0%
男性	24-34歳	16	1	4	-12	-75%	-15	-94%	3	300%
	35-49歳	60	61	44	-16	-27%	1	2%	-17	-28%
	50-64歳	35	71	91	56	160%	36	103%	20	28%
	65歳以上	32	25	50	18	56%	-7	-22%	25	100%
	75歳以上(再掲)	8	12	13	5	63%	4	50%	1	8%
女性	24-34歳	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
	35-49歳	5	10	13	8	160%	5	100%	3	30%
	50-64歳	0	5	15	15		5		10	200%
	65歳以上	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	2	1	1		2		-1	-50%
病院	24-34歳	19	3	6	-13	-68%	-16	-84%	3	100%
	35-49歳	34	40	35	1	3%	6	18%	-5	-13%
	50-64歳	18	32	49	31	172%	14	78%	17	53%
	65歳以上	8	8	22	14	175%	0	0%	14	175%
	75歳以上(再掲)	2	1	8	6	300%	-1	-50%	7	700%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	31	31	22	-9	-29%	0	0%	-9	-29%
	50-64歳	17	44	57	40	235%	27	159%	13	30%
	65歳以上	25	19	30	5	20%	-6	-24%	11	58%
	75歳以上(再掲)	6	13	6	0	0%	7	117%	-7	-54%
	85歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%

東部医療圏

<医師数の推移>

東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科、放射線科であり、少ない診療科は、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、皮膚科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、内科(総数)、小児科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	153	135.8	44	178	148.5	43	222	177.7	43	69	45%	41.9	31%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	64	56.8	45	78	65.1	45	98	78.4	46	34	53%	21.6	38%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	8.9	45	12	10.0	47	15	12.0	48	5	50%	3.1	35%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	16	14.2	65	17	14.2	60	17	13.6	52	1	6%	-0.6	-4%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	17.7	47	15	12.5	42	15	12.0	41	-5	-25%	-5.7	-32%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.8	55	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	1	0.8	41	1	0	0.8	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	5.3	53	9	7.5	61	10	8.0	58	4	67%	2.7	50%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	8.9	41	14	11.7	44	20	16.0	49	10	100%	7.1	80%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	2	1.6	47	2	0	1.6	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	5.3	50	5	4.2	44	5	4.0	41	-1	-17%	-1.3	-25%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	3.5	39	7	5.8	41	7	5.6	38	3	75%	2.1	58%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	3.5	40	7	5.8	46	5	4.0	39	1	25%	0.5	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	3.5	48	4	3.3	44	6	4.8	47	2	50%	1.3	35%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	4.4	37	6	5.0	39	3	2.4	33	-2	-40%	-2.0	-46%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	0.8	43	1	0	0.8	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	2.7	48	1	0.8	40	11	8.8	60	8	267%	6.1	231%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.9	40	1	0.8	38	3	2.4	39	2	200%	1.5	171%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.8	41	3	2.4	41	3	0	2.4	0.0

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

東部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は7,614人(-6%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は69人(31%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は248人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

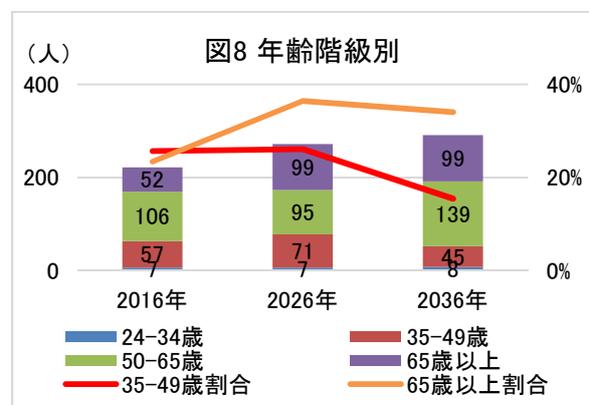
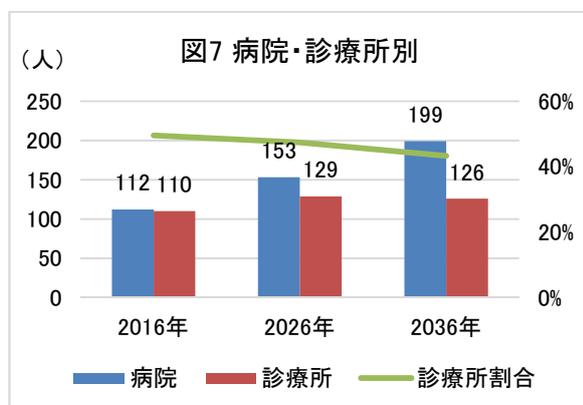
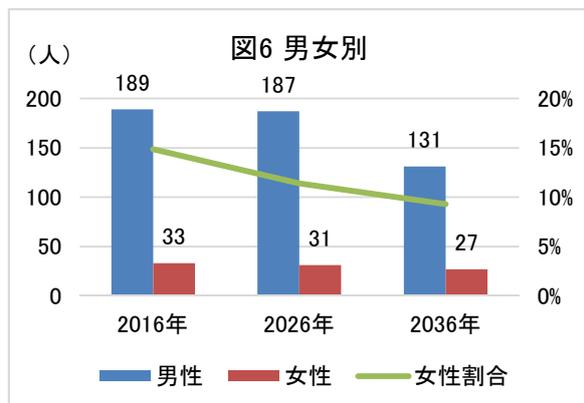
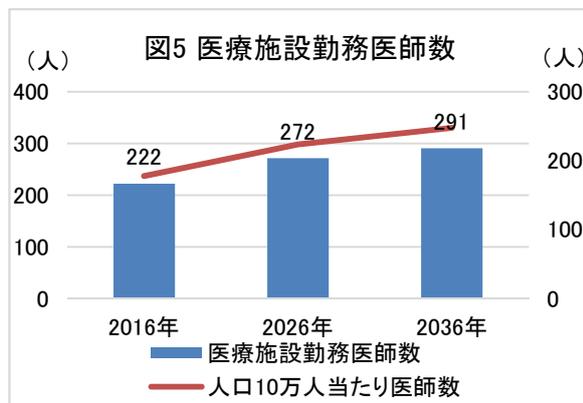
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて58人(-31%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-18%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて87人(78%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に16人(15%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は43%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は12人(-21%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて47人(90%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年23%、2036年34%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



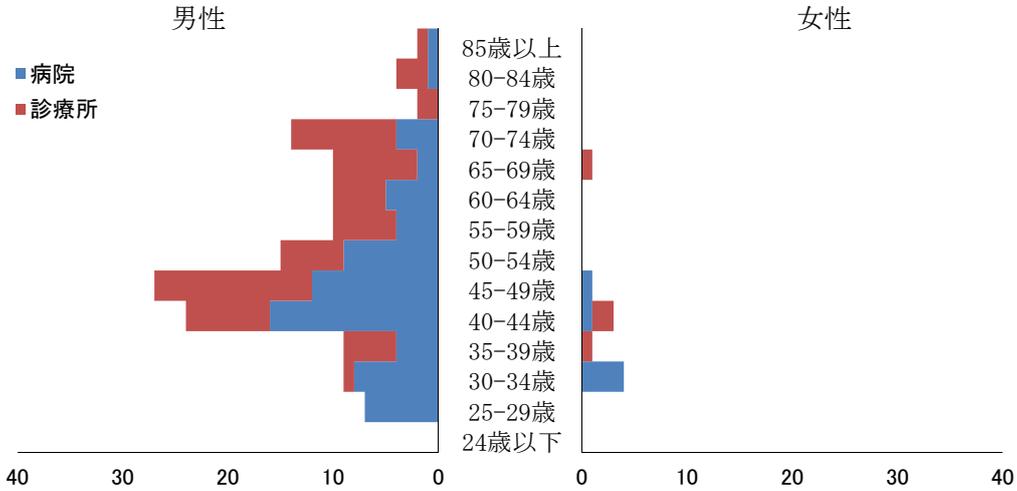
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

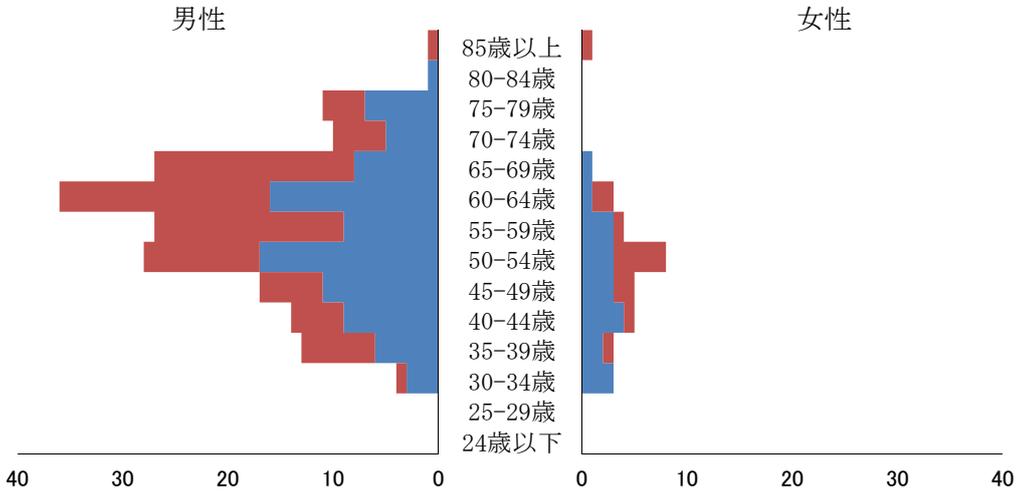
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

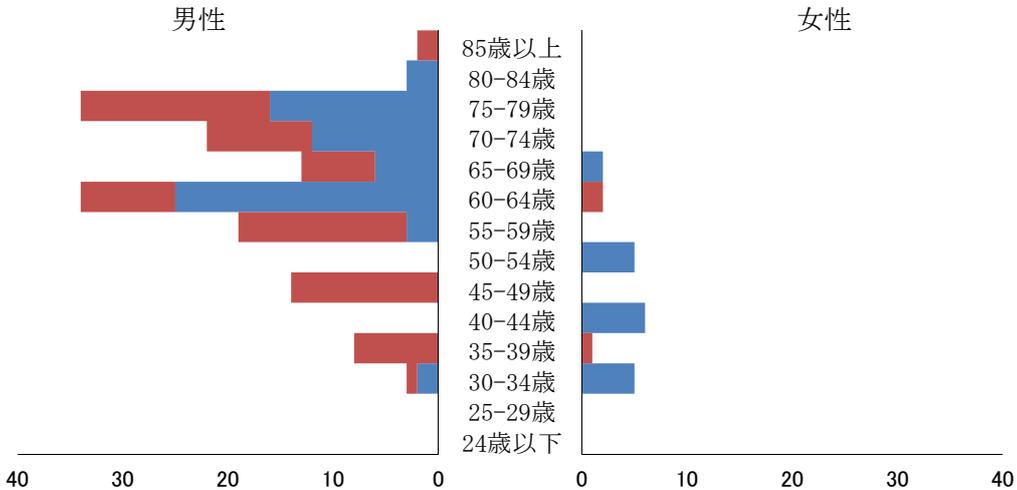
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	124,964	121,484	117,350	-7,614	-6%	-3,480	-3%	-4,134	-3%	
医療施設勤務医師数	222	272	291	69	31%	50	23%	19	7%	
人口10万対	177.7	223.9	248.0	70.3	40%	46.2	26%	24.1	11%	
男性医師数	189	187	131	-58	-31%	-2	-1%	-56	-30%	
人口10万対	151.2	153.9	111.6	-39.6	-26%	2.7	2%	-42.3	-27%	
女性医師数	33	31	27	-6	-18%	-2	-6%	-4	-13%	
人口10万対	26.4	25.5	23.0	-3.4	-13%	-0.9	-3%	-2.5	-10%	
病院勤務医師数	112	153	199	87	78%	41	37%	46	30%	
人口10万対	89.6	125.9	169.6	80.0	89%	36.3	41%	43.6	35%	
診療所勤務医師数	110	129	126	16	15%	19	17%	-3	-2%	
人口10万対	88.0	106.2	107.4	19.3	22%	18.2	21%	1.2	1%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	7	7	8	1	14%	0	0%	1	14%
	35-49歳	57	71	45	-12	-21%	14	25%	-26	-37%
	50-64歳	106	95	139	33	31%	-11	-10%	44	46%
	65歳以上	52	99	99	47	90%	47	90%	0	0%
	75歳以上(再掲)	14	43	52	38	271%	29	207%	9	21%
男性	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	44	17	0	-44	-100%	-27	-61%	-17	-100%
	50-64歳	91	75	46	-45	-49%	-16	-18%	-29	-39%
	65歳以上	50	91	82	32	64%	41	82%	-9	-10%
	75歳以上(再掲)	13	40	45	32	246%	27	208%	5	13%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	13	5	5	-8	-62%	-8	-62%	0	0%
	50-64歳	15	20	14	-1	-7%	5	33%	-6	-30%
	65歳以上	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	35	50	40	5	14%	15	43%	-10	-20%
	50-64歳	49	57	107	58	118%	8	16%	50	88%
	65歳以上	22	40	46	24	109%	18	82%	6	15%
	75歳以上(再掲)	8	18	23	15	188%	10	125%	5	28%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	22	35	36	14	64%	13	59%	1	3%
	50-64歳	57	38	45	-12	-21%	-19	-33%	7	18%
	65歳以上	30	55	44	14	47%	25	83%	-11	-20%
	75歳以上(再掲)	6	20	22	16	267%	14	233%	2	10%
	85歳以上(再掲)	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,486人(-11%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は66人(31%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は215人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は48%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

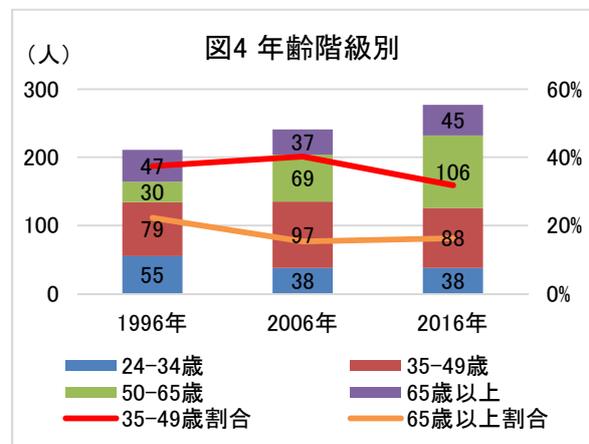
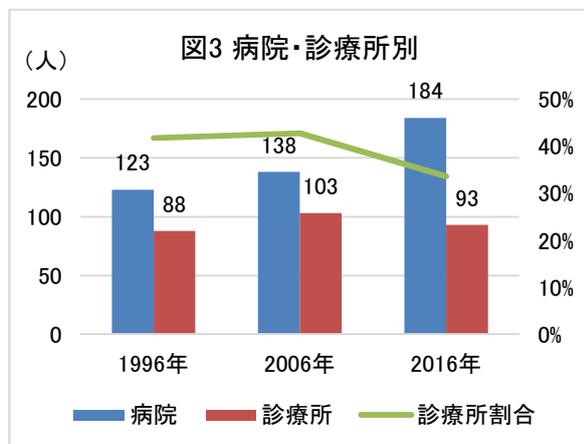
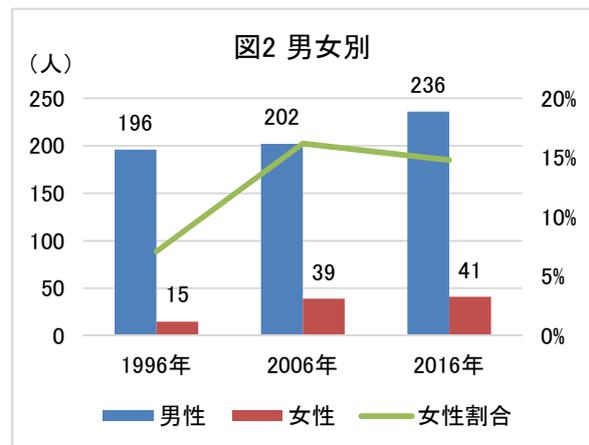
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて40人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に26人(173%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて61人(50%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(6%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は9人(11%)増え、全国平均(11%)と同程度の増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

北部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	145,173	137,854	128,687	-16,486	-11%	-7,319	-5%	-9,167	-7%	
総医師数	219	248	284	65	30%	29	13%	36	15%	
人口10万対	150.9	179.9	220.7	69.8	46%	29.0	19%	40.8	23%	
医療施設勤務医師数	211	241	277	66	31%	30	14%	36	15%	
人口10万対	145.3	174.8	215.3	69.9	48%	29.5	20%	40.4	23%	
男性医師数	196	202	236	40	20%	6	3%	34	17%	
人口10万対	135.0	146.5	183.4	48.4	36%	11.5	9%	36.9	25%	
女性医師数	15	39	41	26	173%	24	160%	2	5%	
人口10万対	10.3	28.3	31.9	21.5	208%	18.0	174%	3.6	13%	
病院勤務医師数	123	138	184	61	50%	15	12%	46	33%	
人口10万対	84.7	100.1	143.0	58.3	69%	15.4	18%	42.9	43%	
診療所勤務医師数	88	103	93	5	6%	15	17%	-10	-10%	
人口10万対	60.6	74.7	72.3	11.7	19%	14.1	23%	-2.4	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.3	49.1	51.5	3.2	7%	0.9	2%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	55	38	38	-17	-31%	-17	-31%	0	0%
	35-49歳	79	97	88	9	11%	18	23%	-9	-9%
	50-64歳	30	69	106	76	253%	39	130%	37	54%
	65歳以上	47	37	45	-2	-4%	-10	-21%	8	22%
	75歳以上(再掲)	13	20	12	-1	-8%	7	54%	-8	-40%
男性	24-34歳	44	21	27	-17	-39%	-23	-52%	6	29%
	35-49歳	77	80	67	-10	-13%	3	4%	-13	-16%
	50-64歳	29	64	99	70	241%	35	121%	35	55%
	65歳以上	46	37	43	-3	-7%	-9	-20%	6	16%
	75歳以上(再掲)	13	20	12	-1	-8%	7	54%	-8	-40%
女性	24-34歳	11	17	11	0	0%	6	55%	-6	-35%
	35-49歳	2	17	21	19	950%	15	750%	4	24%
	50-64歳	1	5	7	6	600%	4	400%	2	40%
	65歳以上	1	0	2	1	100%	-1	-100%	2	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	49	32	35	-14	-29%	-17	-35%	3	9%
	35-49歳	51	67	71	20	39%	16	31%	4	6%
	50-64歳	10	29	58	48	480%	19	190%	29	100%
	65歳以上	13	10	20	7	54%	-3	-23%	10	100%
	75歳以上(再掲)	4	5	5	1	25%	1	25%	0	0%
診療所	24-34歳	6	6	3	-3	-50%	0	0%	-3	-50%
	35-49歳	28	30	17	-11	-39%	2	7%	-13	-43%
	50-64歳	20	40	48	28	140%	20	100%	8	20%
	65歳以上	34	27	25	-9	-26%	-7	-21%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	9	15	7	-2	-22%	6	67%	-8	-53%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

北部医療圏

＜医師数の推移＞

北部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科、整形外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、麻酔科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	211	145.3	45	241	174.8	46	277	215.3	47	66	31%	69.9	48%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	89	61.3	46	100	72.5	48	119	92.5	51	30	34%	31.2	51%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	6.2	39	9	6.5	39	13	10.1	44	4	44%	3.9	63%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	8.3	51	16	11.6	54	18	14.0	53	6	50%	5.7	69%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	32	22.0	51	27	19.6	52	27	21.0	53	-5	-16%	-1.1	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.8	43	4	2.9	41	10	7.8	58	6	150%	5.0	182%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	16	11.0	46	20	14.5	49	26	20.2	57	10	63%	9.2	83%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	4.1	46	9	6.5	51	8	6.2	47	2	33%	2.1	50%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	3.4	39	11	8.0	46	9	7.0	42	4	80%	3.5	103%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	3.4	40	6	4.4	42	5	3.9	39	0	0%	0.4	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	3.4	47	7	5.1	51	10	7.8	59	5	100%	4.3	126%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	8.3	46	10	7.3	45	9	7.0	43	-3	-25%	-1.3	-15%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.7	50	1	0.7	44	2	1.6	47	1	100%	0.9	126%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	2.8	48	6	4.4	52	6	4.7	49	2	50%	1.9	69%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.4	42	4	2.9	44	5	3.9	43	3	150%	2.5	182%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	3	2.3	49	3		2.3	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	3.6	41	5	3.9	40	5	0%	0.3	7%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	9	6.2	54	6	4.4	48	2	1.6	40	-7	-78%	-4.6	-75%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

北部医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は22,851人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は44人(16%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は303人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

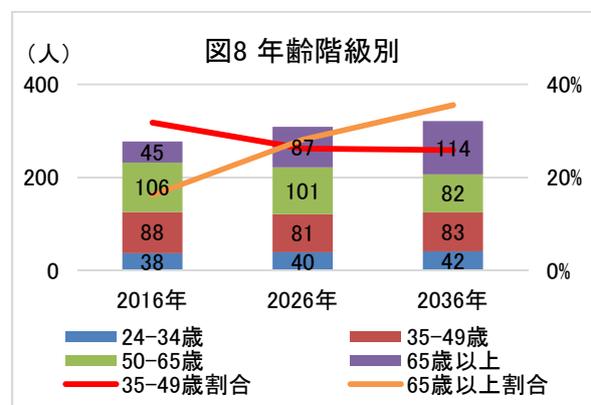
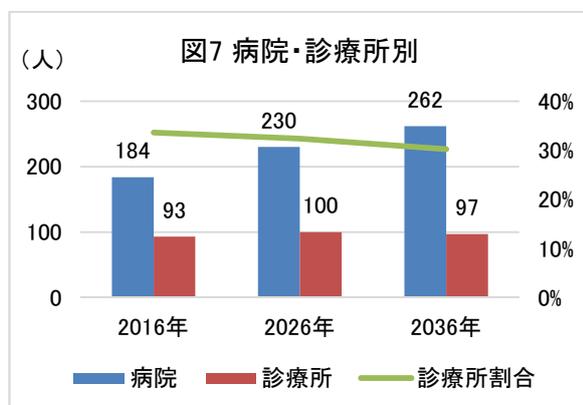
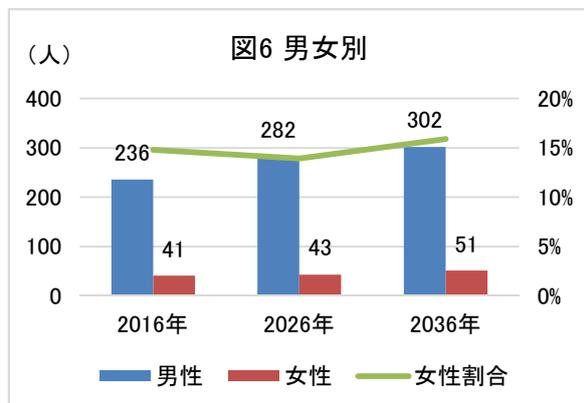
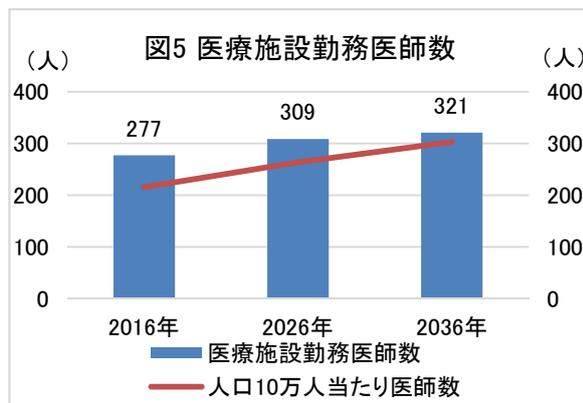
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて66人(28%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に10人(24%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は16%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて78人(42%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(4%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は5人(-6%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて69人(153%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



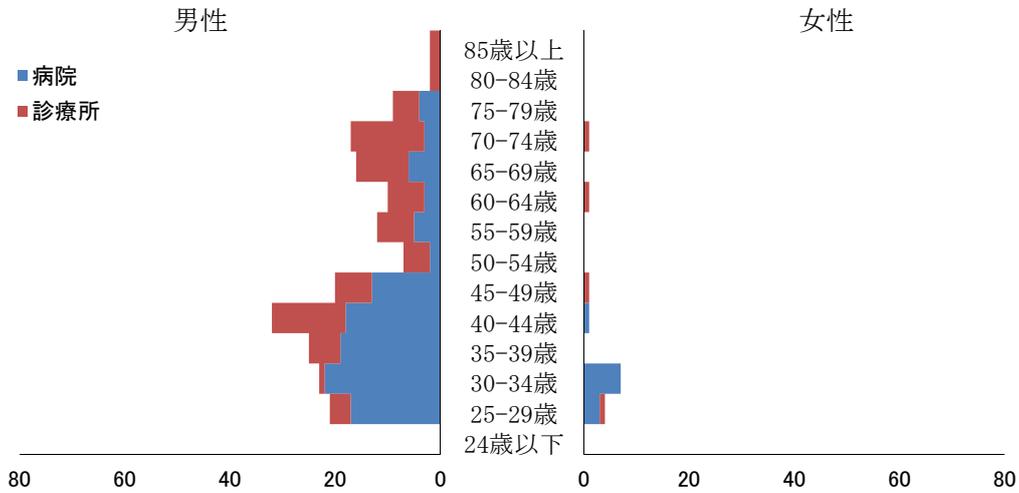
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

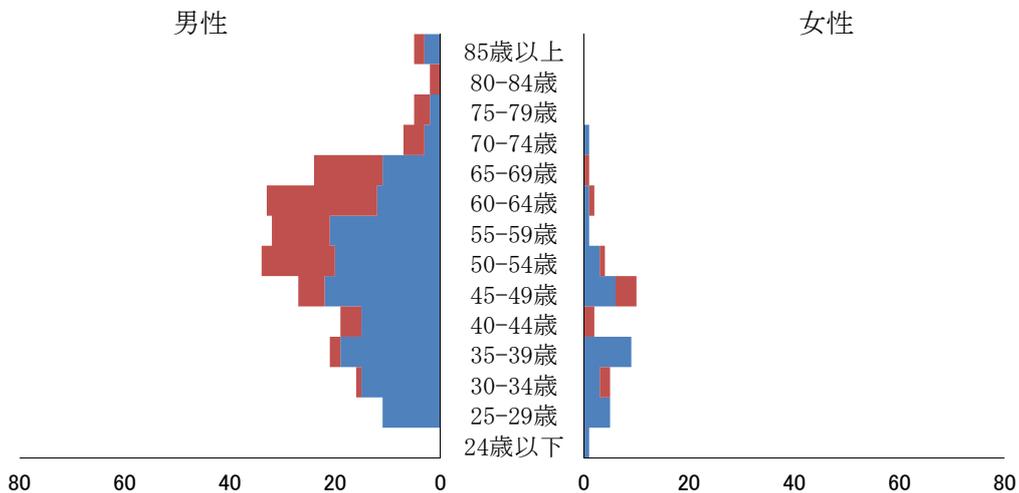
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

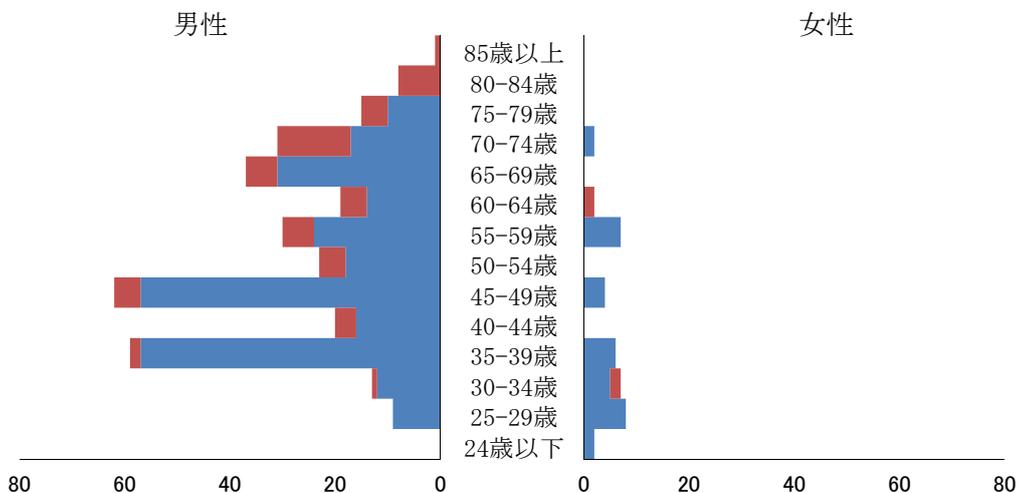
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	128,687	117,309	105,836	-22,851	-18%	-11,378	-9%	-11,473	-10%	
医療施設勤務医師数	277	309	321	44	16%	32	12%	12	4%	
人口10万対	215.3	263.4	303.3	88.0	41%	48.2	22%	39.9	15%	
男性医師数	236	282	302	66	28%	46	19%	20	7%	
人口10万対	183.4	240.4	285.3	102.0	56%	57.0	31%	45.0	19%	
女性医師数	41	43	51	10	24%	2	5%	8	19%	
人口10万対	31.9	36.7	48.2	16.3	51%	4.8	15%	11.5	31%	
病院勤務医師数	184	230	262	78	42%	46	25%	32	14%	
人口10万対	143.0	196.1	247.6	104.6	73%	53.1	37%	51.5	26%	
診療所勤務医師数	93	100	97	4	4%	7	8%	-3	-3%	
人口10万対	72.3	85.2	91.7	19.4	27%	13.0	18%	6.4	8%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	38	40	42	4	11%	2	5%	2	5%
	35-49歳	88	81	83	-5	-6%	-7	-8%	2	2%
	50-64歳	106	101	82	-24	-23%	-5	-5%	-19	-19%
	65歳以上	45	87	114	69	153%	42	93%	27	31%
	75歳以上(再掲)	12	16	33	21	175%	4	33%	17	106%
男性	24-34歳	27	28	22	-5	-19%	1	4%	-6	-21%
	35-49歳	67	85	110	43	64%	18	27%	25	29%
	50-64歳	99	85	72	-27	-27%	-14	-14%	-13	-15%
	65歳以上	43	84	98	55	128%	41	95%	14	17%
	75歳以上(再掲)	12	16	32	20	167%	4	33%	16	100%
女性	24-34歳	11	11	18	7	64%	0	0%	7	64%
	35-49歳	21	13	9	-12	-57%	-8	-38%	-4	-31%
	50-64歳	7	16	11	4	57%	9	129%	-5	-31%
	65歳以上	2	3	13	11	550%	1	50%	10	333%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	35	36	38	3	9%	1	3%	2	6%
	35-49歳	71	79	92	21	30%	8	11%	13	16%
	50-64歳	58	68	62	4	7%	10	17%	-6	-9%
	65歳以上	20	47	70	50	250%	27	135%	23	49%
	75歳以上(再掲)	5	7	11	6	120%	2	40%	4	57%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	23	23	6	35%	6	35%	0	0%
	50-64歳	48	32	31	-17	-35%	-16	-33%	-1	-3%
	65歳以上	25	42	40	15	60%	17	68%	-2	-5%
	75歳以上(再掲)	7	9	15	8	114%	2	29%	6	67%
	85歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は7,780人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は6人(-5%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は159人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は5%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

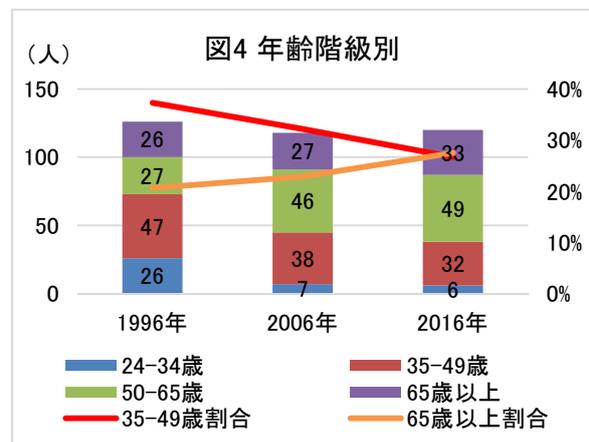
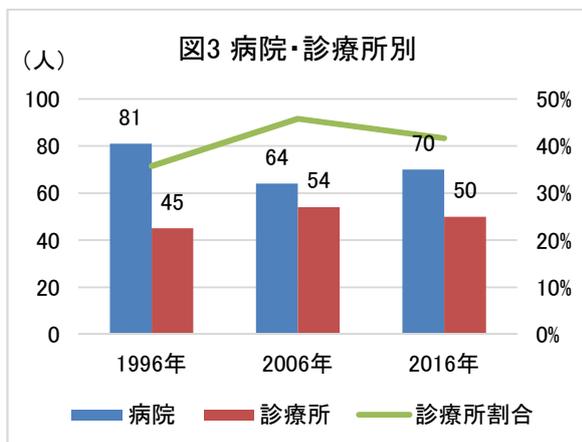
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて8人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(15%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて11人(-14%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は15人(-32%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて7人(27%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	83,166	79,760	75,386	-7,780	-9%	-3,406	-4%	-4,374	-5%	
総医師数	131	125	125	-6	-5%	-6	-5%	0	0%	
人口10万対	157.5	156.7	165.8	8.3	5%	-0.8	-1%	9.1	6%	
医療施設勤務医師数	126	118	120	-6	-5%	-8	-6%	2	2%	
人口10万対	151.5	147.9	159.2	7.7	5%	-3.6	-2%	11.2	8%	
男性医師数	113	106	105	-8	-7%	-7	-6%	-1	-1%	
人口10万対	135.9	132.9	139.3	3.4	3%	-3.0	-2%	6.4	5%	
女性医師数	13	12	15	2	15%	-1	-8%	3	25%	
人口10万対	15.6	15.0	19.9	4.3	27%	-0.6	-4%	4.9	32%	
病院勤務医師数	81	64	70	-11	-14%	-17	-21%	6	9%	
人口10万対	97.4	80.2	92.9	-4.5	-5%	-17.2	-18%	12.6	16%	
診療所勤務医師数	45	54	50	5	11%	9	20%	-4	-7%	
人口10万対	54.1	67.7	66.3	12.2	23%	13.6	25%	-1.4	-2%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.1	55.2	57.0	6.9	14%	5.1	10%	1.8	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	26	7	6	-20	-77%	-19	-73%	-1	-14%
	35-49歳	47	38	32	-15	-32%	-9	-19%	-6	-16%
	50-64歳	27	46	49	22	81%	19	70%	3	7%
	65歳以上	26	27	33	7	27%	1	4%	6	22%
	75歳以上(再掲)	12	11	10	-2	-17%	-1	-8%	-1	-9%
男性	24-34歳	23	7	5	-18	-78%	-16	-70%	-2	-29%
	35-49歳	41	33	26	-15	-37%	-8	-20%	-7	-21%
	50-64歳	26	41	43	17	65%	15	58%	2	5%
	65歳以上	23	25	31	8	35%	2	9%	6	24%
	75歳以上(再掲)	10	9	9	-1	-10%	-1	-10%	0	0%
女性	24-34歳	3	0	1	-2	-67%	-3	-100%	1	
	35-49歳	6	5	6	0	0%	-1	-17%	1	20%
	50-64歳	1	5	6	5	500%	4	400%	1	20%
	65歳以上	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
病院	24-34歳	25	7	5	-20	-80%	-18	-72%	-2	-29%
	35-49歳	33	23	25	-8	-24%	-10	-30%	2	9%
	50-64歳	14	25	28	14	100%	11	79%	3	12%
	65歳以上	9	9	12	3	33%	0	0%	3	33%
	75歳以上(再掲)	6	2	3	-3	-50%	-4	-67%	1	50%
診療所	24-34歳	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	35-49歳	14	15	7	-7	-50%	1	7%	-8	-53%
	50-64歳	13	21	21	8	62%	8	62%	0	0%
	65歳以上	17	18	21	4	24%	1	6%	3	17%
	75歳以上(再掲)	6	9	7	1	17%	3	50%	-2	-22%
	85歳以上(再掲)	0	2	3	3		2		1	50%

西部医療圏

＜医師数の推移＞

西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、眼科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	126	151.5	46	118	147.9	43	120	159.2	41	-6	-5%	7.7	5%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	61	73.3	49	59	74.0	48	57	75.6	46	-4	-7%	2.3	3%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	4.8	36	6	7.5	41	5	6.6	38	1	25%	1.8	38%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	6.0	45	4	5.0	40	7	9.3	45	2	40%	3.3	54%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	22	26.5	56	13	16.3	47	15	19.9	51	-7	-32%	-6.6	-25%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	3.6	63	3	3.8	60	2	2.7	51	-1	-33%	-1.0	-26%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.4	42	3	3.8	45	3	4.0	43	1	50%	1.6	65%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	12.0	48	10	12.5	45	8	10.6	38	-2	-20%	-1.4	-12%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	3.6	45	4	5.0	47	3	4.0	41	0	0%	0.4	10%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	6.0	44	4	5.0	39	3	4.0	35	-2	-40%	-2.0	-34%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.4	37	3	3.8	40	3	4.0	39	1	50%	1.6	65%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	3.6	48	3	3.8	45	2	2.7	39	-1	-33%	-1.0	-26%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	7.2	44	6	7.5	46	7	9.3	48	1	17%	2.1	29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	2	2.7	40	2	2	2.7	2.7
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	1.3	44	1	1	1.3	1.3
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	2	2.7	42	2	2	2.7	2.7

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

西部医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は11,180人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は17人(-14%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は160人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は1%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

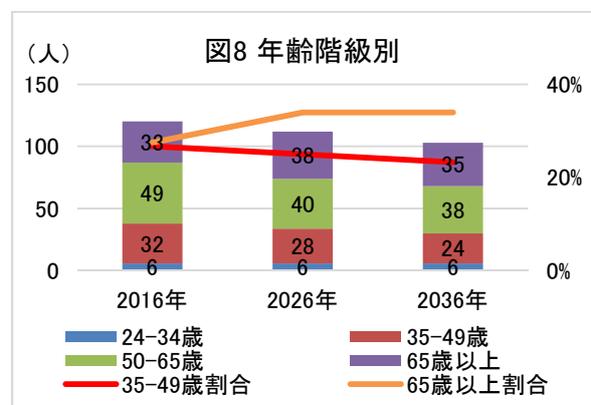
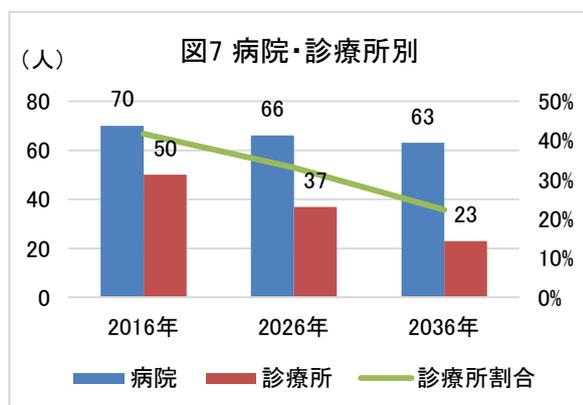
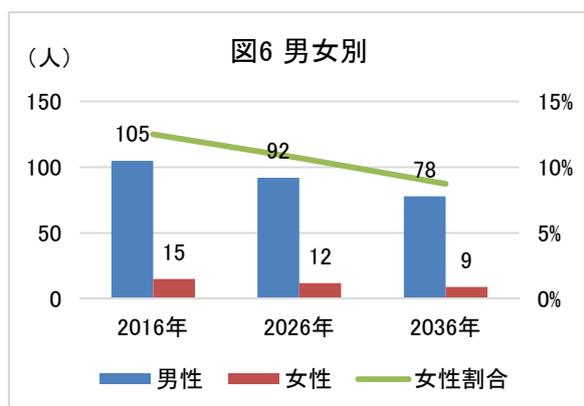
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて27人(-26%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-40%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に27人(-54%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は8人(-25%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(6%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年28%、2036年34%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



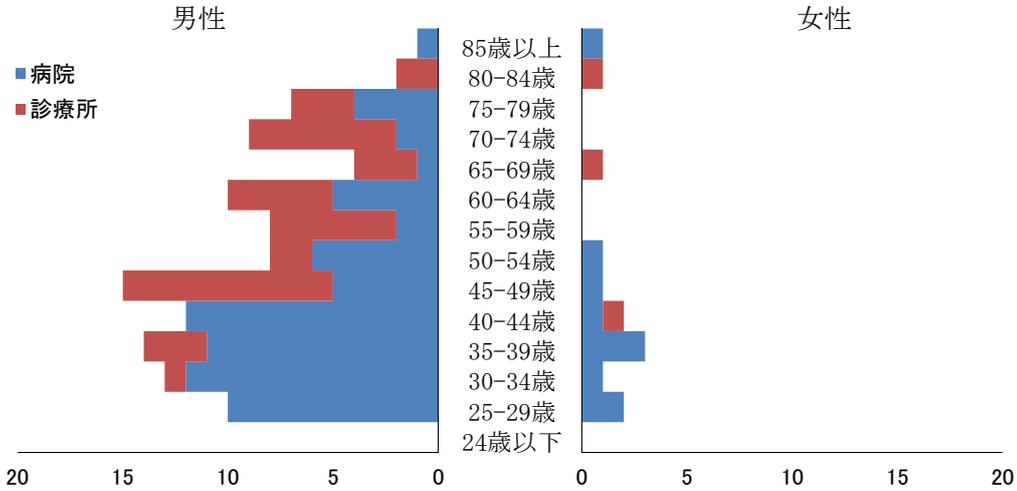
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

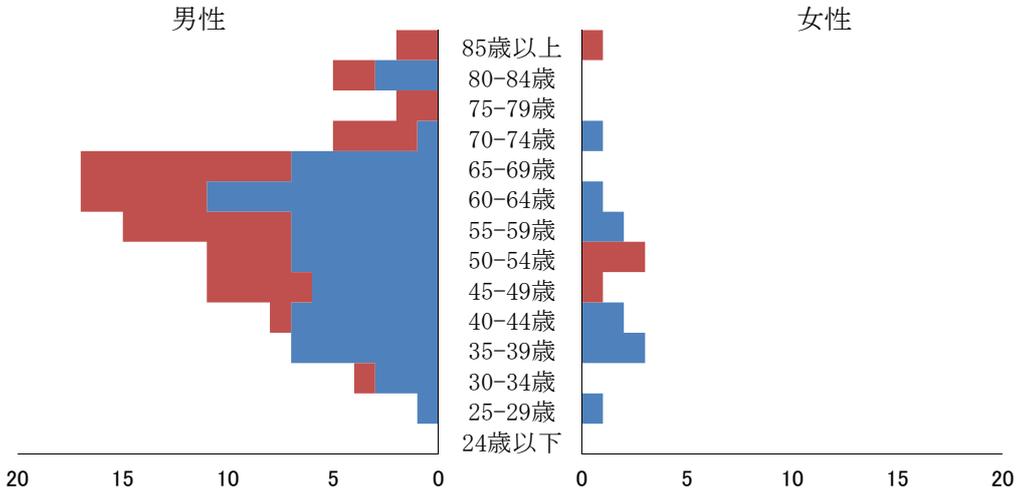
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

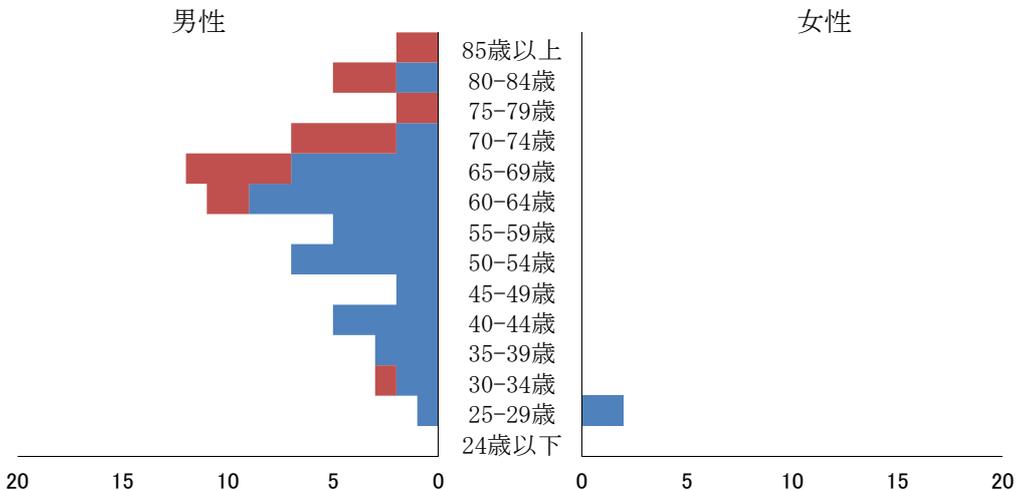
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	75,386	70,170	64,206	-11,180	-15%	-5,216	-7%	-5,964	-8%	
医療施設勤務医師数	120	112	103	-17	-14%	-8	-7%	-9	-8%	
人口10万対	159.2	159.6	160.4	1.2	1%	0.4	0%	0.8	1%	
男性医師数	105	92	78	-27	-26%	-13	-12%	-14	-15%	
人口10万対	139.3	131.1	121.5	-17.8	-13%	-8.2	-6%	-9.6	-7%	
女性医師数	15	12	9	-6	-40%	-3	-20%	-3	-25%	
人口10万対	19.9	17.1	14.0	-5.9	-30%	-2.8	-14%	-3.1	-18%	
病院勤務医師数	70	66	63	-7	-10%	-4	-6%	-3	-5%	
人口10万対	92.9	94.1	98.1	5.3	6%	1.2	1%	4.1	4%	
診療所勤務医師数	50	37	23	-27	-54%	-13	-26%	-14	-38%	
人口10万対	66.3	52.7	35.8	-30.5	-46%	-13.6	-20%	-16.9	-32%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	32	28	24	-8	-25%	-4	-13%	-4	-14%
	50-64歳	49	40	38	-11	-22%	-9	-18%	-2	-5%
	65歳以上	33	38	35	2	6%	5	15%	-3	-8%
	75歳以上(再掲)	10	11	15	5	50%	1	10%	4	36%
男性	24-34歳	5	5	4	-1	-20%	0	0%	-1	-20%
	35-49歳	26	18	14	-12	-46%	-8	-31%	-4	-22%
	50-64歳	43	34	28	-15	-35%	-9	-21%	-6	-18%
	65歳以上	31	35	32	1	3%	4	13%	-3	-9%
	75歳以上(再掲)	9	9	13	4	44%	0	0%	4	44%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	6	3	0	-6	-100%	-3	-50%	-3	-100%
	50-64歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	65歳以上	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	25	21	18	-7	-28%	-4	-16%	-3	-14%
	50-64歳	28	25	28	0	0%	-3	-11%	3	12%
	65歳以上	12	15	12	0	0%	3	25%	-3	-20%
	75歳以上(再掲)	3	1	4	1	33%	-2	-67%	3	300%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	7	0	0	-7	-100%	-7	-100%	0	
	50-64歳	21	16	1	-20	-95%	-5	-24%	-15	-94%
	65歳以上	21	20	21	0	0%	-1	-5%	1	5%
	75歳以上(再掲)	7	8	8	1	14%	1	14%	0	0%
	85歳以上(再掲)	3	2	3	0	0%	-1	-33%	1	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は24,770人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は91人(32%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は244人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は53%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

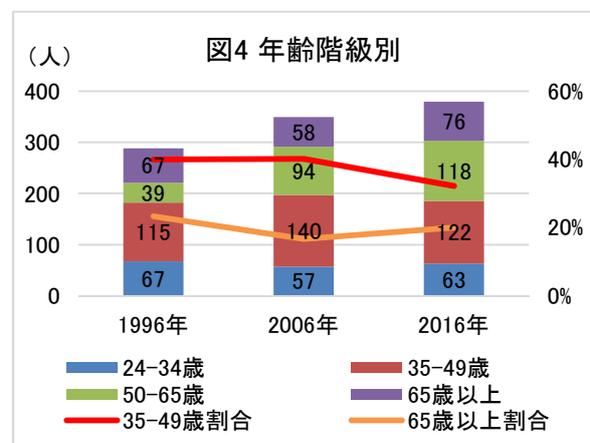
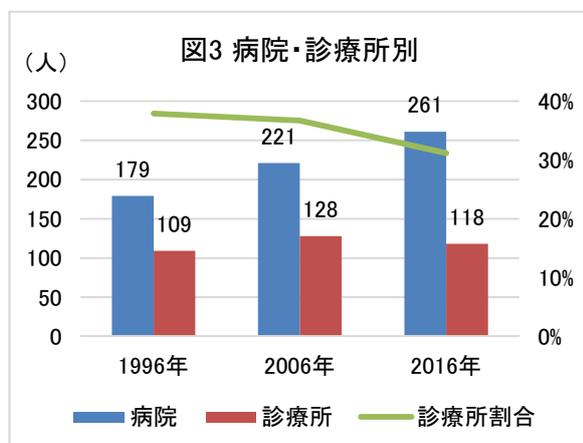
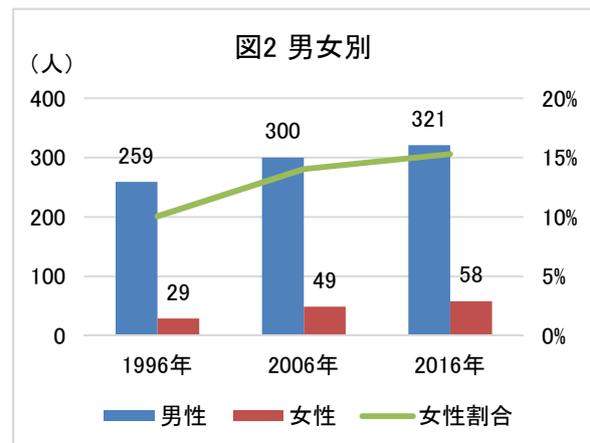
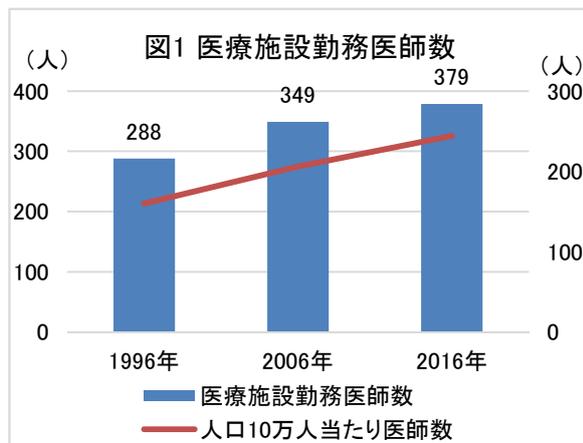
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて62人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に29人(100%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて82人(46%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は7人(6%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年20%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

南部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	179,932	169,307	155,162	-24,770	-14%	-10,625	-6%	-14,145	-8%	
総医師数	296	360	390	94	32%	64	22%	30	8%	
人口10万対	164.5	212.6	251.4	86.8	53%	48.1	29%	38.7	18%	
医療施設勤務医師数	288	349	379	91	32%	61	21%	30	9%	
人口10万対	160.1	206.1	244.3	84.2	53%	46.1	29%	38.1	18%	
男性医師数	259	300	321	62	24%	41	16%	21	7%	
人口10万対	143.9	177.2	206.9	62.9	44%	33.2	23%	29.7	17%	
女性医師数	29	49	58	29	100%	20	69%	9	18%	
人口10万対	16.1	28.9	37.4	21.3	132%	12.8	80%	8.4	29%	
病院勤務医師数	179	221	261	82	46%	42	23%	40	18%	
人口10万対	99.5	130.5	168.2	68.7	69%	31.1	31%	37.7	29%	
診療所勤務医師数	109	128	118	9	8%	19	17%	-10	-8%	
人口10万対	60.6	75.6	76.0	15.5	26%	15.0	25%	0.4	1%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.8	50.0	51.0	2.2	5%	1.2	3%	1.0	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	67	57	63	-4	-6%	-10	-15%	6	11%
	35-49歳	115	140	122	7	6%	25	22%	-18	-13%
	50-64歳	39	94	118	79	203%	55	141%	24	26%
	65歳以上	67	58	76	9	13%	-9	-13%	18	31%
	75歳以上(再掲)	19	33	22	3	16%	14	74%	-11	-33%
男性	24-34歳	53	37	45	-8	-15%	-16	-30%	8	22%
	35-49歳	104	118	98	-6	-6%	14	13%	-20	-17%
	50-64歳	38	88	104	66	174%	50	132%	16	18%
	65歳以上	64	57	74	10	16%	-7	-11%	17	30%
	75歳以上(再掲)	17	32	21	4	24%	15	88%	-11	-34%
女性	24-34歳	14	20	18	4	29%	6	43%	-2	-10%
	35-49歳	11	22	24	13	118%	11	100%	2	9%
	50-64歳	1	6	14	13	1300%	5	500%	8	133%
	65歳以上	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%
	75歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
病院	24-34歳	67	55	63	-4	-6%	-12	-18%	8	15%
	35-49歳	67	102	97	30	45%	35	52%	-5	-5%
	50-64歳	25	41	66	41	164%	16	64%	25	61%
	65歳以上	20	23	35	15	75%	3	15%	12	52%
	75歳以上(再掲)	4	9	11	7	175%	5	125%	2	22%
診療所	24-34歳	0	2	0	0		2		-2	-100%
	35-49歳	48	38	25	-23	-48%	-10	-21%	-13	-34%
	50-64歳	14	53	52	38	271%	39	279%	-1	-2%
	65歳以上	47	35	41	-6	-13%	-12	-26%	6	17%
	75歳以上(再掲)	15	24	11	-4	-27%	9	60%	-13	-54%
	85歳以上(再掲)	2	5	3	1	50%	3	150%	-2	-40%

南部医療圏

＜医師数の推移＞

南部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、心臓血管外科、整形外科であり、少ない診療科は、小児外科、皮膚科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、整形外科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	288	160.1	47	349	206.1	50	379	244.3	50	91	32%	84.2	53%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	125	69.5	48	153	90.4	54	155	99.9	53	30	24%	30.4	44%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	21	11.7	52	18	10.6	48	20	12.9	49	-1	-5%	1.2	10%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	18	10.0	55	20	11.8	55	23	14.8	55	5	28%	4.8	48%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	35	19.5	49	36	21.3	54	33	21.3	53	-2	-6%	1.8	9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	1.8	49	8	5.2	65	8		5.2	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.2	41	7	4.1	47	11	7.1	55	7	175%	4.9	219%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	17	9.4	43	24	14.2	49	31	20.0	56	14	82%	10.5	111%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	2	1.2	48	2	1.3	45	2		1.3	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	3.9	46	6	3.5	42	8	5.2	44	1	14%	1.3	33%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	15	8.3	49	17	10.0	51	16	10.3	50	1	7%	2.0	24%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	9	5.0	44	13	7.7	52	12	7.7	51	3	33%	2.7	55%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	5.0	54	6	3.5	44	9	5.8	51	0	0%	0.8	16%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	18	10.0	50	17	10.0	52	11	7.1	43	-7	-39%	-2.9	-29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.6	48	1	0.6	43	0	0.0	37	-1	-100%	-0.6	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	3.3	50	10	5.9	57	7	4.5	48	1	17%	1.2	35%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.1	41	6	3.5	46	11	7.1	50	9	450%	6.0	538%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	2	1.3	44	2		1.3	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				7	4.1	42	14	9.0	46	14	100%	4.9	118%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.6	41	3	1.8	43	6	3.9	44	5	500%	3.3	596%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

南部医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は28,034人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は61人(16%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は346人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は42%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

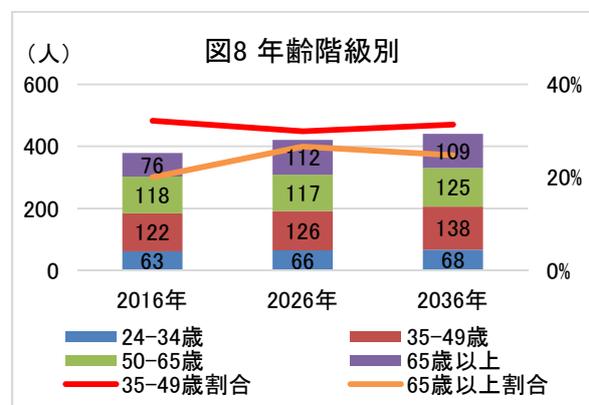
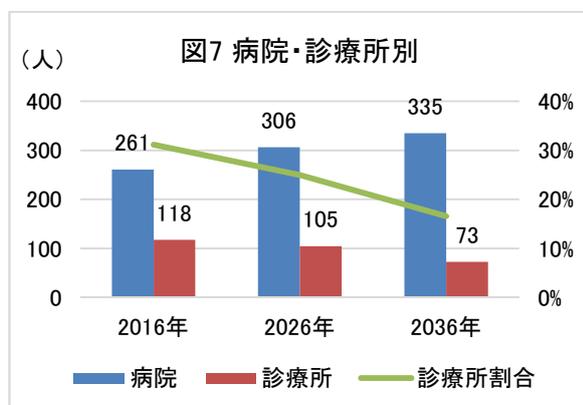
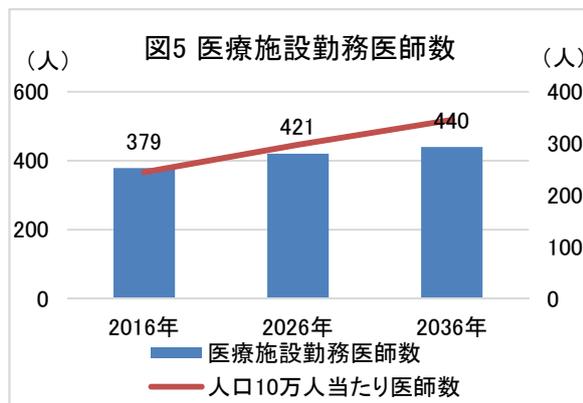
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて47人(15%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に17人(29%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は17%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて74人(28%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に45人(-38%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は17%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(13%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて33人(43%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



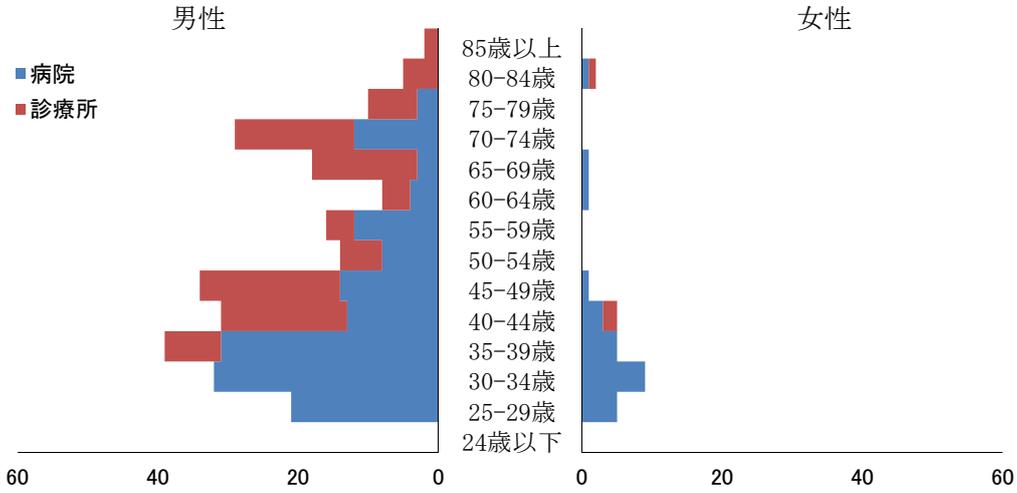
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

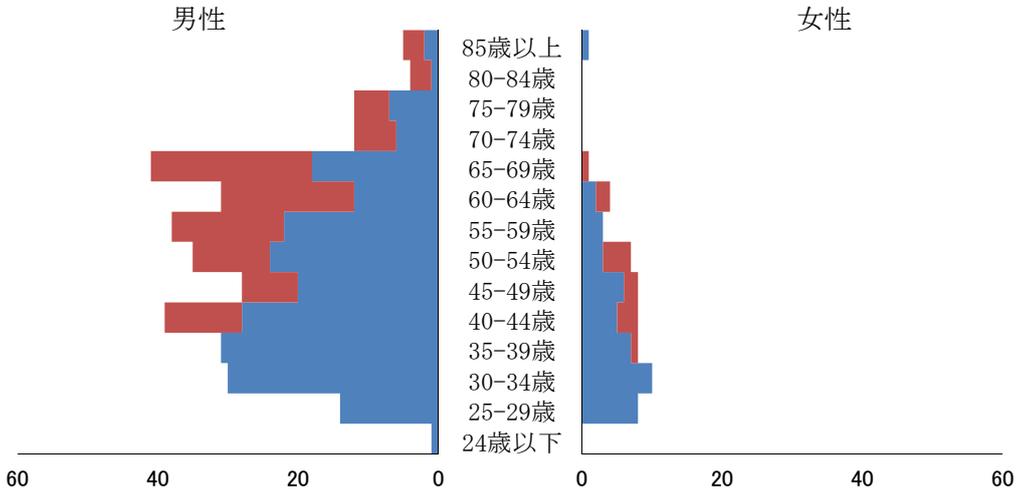
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

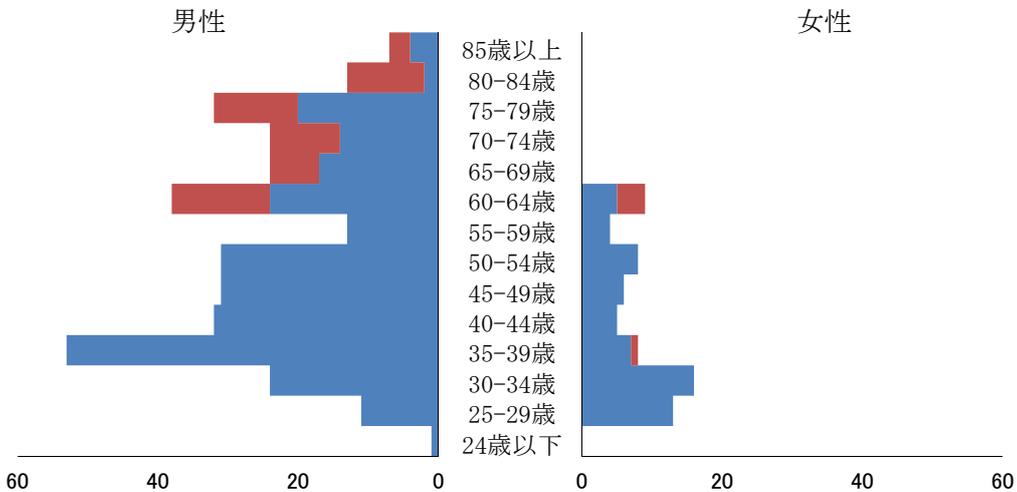
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	155,162	141,491	127,128	-28,034	-18%	-13,671	-9%	-14,363	-10%	
医療施設勤務医師数	379	421	440	61	16%	42	11%	19	5%	
人口10万対	244.3	297.5	346.1	101.8	42%	53.3	22%	48.6	16%	
男性医師数	321	361	368	47	15%	40	12%	7	2%	
人口10万対	206.9	255.1	289.5	82.6	40%	48.3	23%	34.3	13%	
女性医師数	58	64	75	17	29%	6	10%	11	17%	
人口10万対	37.4	45.2	59.0	21.6	58%	7.9	21%	13.8	30%	
病院勤務医師数	261	306	335	74	28%	45	17%	29	9%	
人口10万対	168.2	216.3	263.5	95.3	57%	48.1	29%	47.2	22%	
診療所勤務医師数	118	105	73	-45	-38%	-13	-11%	-32	-30%	
人口10万対	76.0	74.2	57.4	-18.6	-24%	-1.8	-2%	-16.8	-23%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	63	66	68	5	8%	3	5%	2	3%
	35-49歳	122	126	138	16	13%	4	3%	12	10%
	50-64歳	118	117	125	7	6%	-1	-1%	8	7%
	65歳以上	76	112	109	33	43%	36	47%	-3	-3%
	75歳以上(再掲)	22	41	51	29	132%	19	86%	10	24%
男性	24-34歳	45	47	36	-9	-20%	2	4%	-11	-23%
	35-49歳	98	114	134	36	37%	16	16%	20	18%
	50-64歳	104	96	103	-1	-1%	-8	-8%	7	7%
	65歳以上	74	104	95	21	28%	30	41%	-9	-9%
	75歳以上(再掲)	21	39	47	26	124%	18	86%	8	21%
女性	24-34歳	18	19	29	11	61%	1	6%	10	53%
	35-49歳	24	20	20	-4	-17%	-4	-17%	0	0%
	50-64歳	14	21	22	8	57%	7	50%	1	5%
	65歳以上	2	4	4	2	100%	2	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	63	66	68	5	8%	3	5%	2	3%
	35-49歳	97	109	121	24	25%	12	12%	12	11%
	50-64歳	66	73	82	16	24%	7	11%	9	12%
	65歳以上	35	58	64	29	83%	23	66%	6	10%
	75歳以上(再掲)	11	19	29	18	164%	8	73%	10	53%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	25	2	2	-23	-92%	-23	-92%	0	0%
	50-64歳	52	42	19	-33	-63%	-10	-19%	-23	-55%
	65歳以上	41	61	52	11	27%	20	49%	-9	-15%
	75歳以上(再掲)	11	25	29	18	164%	14	127%	4	16%
	85歳以上(再掲)	3	1	3	0	0%	-2	-67%	2	200%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)